キャリア&就職支援ジャーナル 高等学校版

発行 キャリア教育支援協議会 × 大学新聞社

高校の先生方との連携による紙面編集

陽春号 2025 VOL.73
[発行] 4月30日(水)

★「高企連携」News & Topics
北海道 「とかち創生学」etc. 2
東北 「者づくり」に取り組む etc. 3
関東・首都圏 ましこ未来大学 etc. 5
東海・北陸 進路指導研究会 etc. 7
近畿・中国・四国 社会を支えるモノづくり業界 etc. 8
九州・沖縄 地域との「共学」「共創」etc. 9
グローバル ミャンマーリポート vol.1 12

『キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]』は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等を結びつけるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School teachers [通巻第68号]

17～19歳の若者が抱く就職・仕事観。8割が「就活」「労働」に対して「不安」

「18歳の若者が何を考え、何を思っているのか」をテーマに、18歳前後の若者を対象とするインターネットアンケート調査を行っている公益財団法人日本財団（本部東京・港区）。最新調査となる68回目では「就職・仕事観」をテーマに、17～19歳の1,000人から就職活動や働くことに対する不安感、理想の働き方などについて意見をまとめた。本稿では、4月10日に公表された調査結果からその報告内容について整理し、若者の就職・労働に対する構えや意識を見ていく。

就職・仕事への若者の意識 8割超が就活・労働を不安視

最初に、就職活動や働くことに対する若者の不安意識について見てみよう。

●就職活動に対する不安

質問1「あなたは、就職活動に対して不安がありますか。既に就職している人・就職活動が済んだ人は、就職活動をする前にどう感じていたか教えてください（単一回答）」の問い対しては、「不安がある」が42.8%、「どちらかというと不安がある」が38.8%で、合計すると8割以上が不安を抱えていることが分かった。

男女別では、男性は「不安がある」38.2%、「どちらかというと不安がある」40.2%と、78%超の人が就職活動に関して不安を抱いていた。一方、女性は「不安がある」47.6%、「どちらかというと不安がある」37.4%となり、85%が不安があるとした。

「どちらかというと不安はない」「不安はない」と答えた割合は、全体および男女別の全ての結果で2割に満たず、大半が就職活動に対して不安を抱いている、もしくは抱いていたことが分かった。

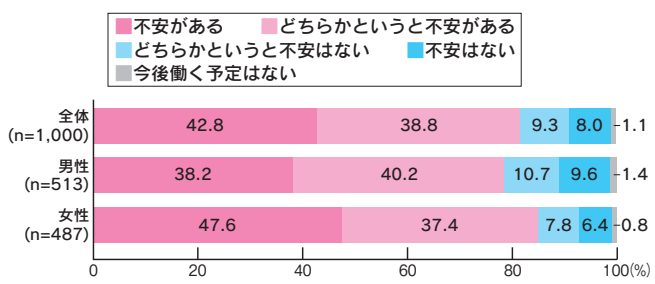
●働くことに対する不安

質問2「あなたは、働くことに対して不安がありますか。既に働いている人は、今後も働いていくことに対して不安があるかどうか教えてください（単一回答）」の問いには、全体の78.2%が不安があると回答。より詳しい内訳に目を向けてみると、男性は「不安がある」が35.5%、「どちらかというと不安がある」37.0%、女性はそれぞれ43.7%、40.5%と、男女共に7～8割以上が働くことに対して不安を抱いている。

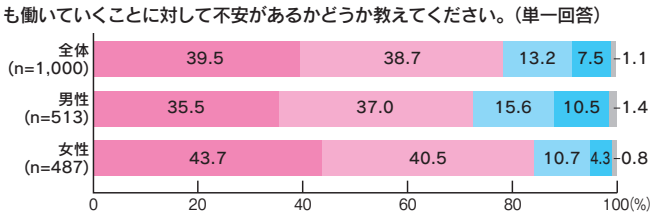
特に女性は働くことに対して不安を抱いているようだ。男性が働くことに対して不安を感じないとする割合が25%を超えた半面、女性は就職活動に対する不安と同様に、労働に対しても「不安はない」とした割合は15%に過ぎなかった。男女がそれぞれ抱く労働に対する不安の差は、近年の就職難等の現状も含まれていそうだが、出産などの女性特有のライフイベントの存在も少なからず関与しているのかもしれない。

■就職活動に対する不安

質問1：あなたは、就職活動に対して不安がありますか。既に就職している人・就職活動が済んだ人は、就職活動をする前にどう感じていたか教えてください。（単一回答）



質問2：あなたは、働くことに対して不安がありますか。既に働いている人は、今後も働いていくことに対して不安があるかどうか教えてください。（単一回答）



（資料：日本財団『第68回18歳意識調査「就職・仕事観」調査報告書』）

就活の情報収集は〝SNS〟資格取得を就活に活かす

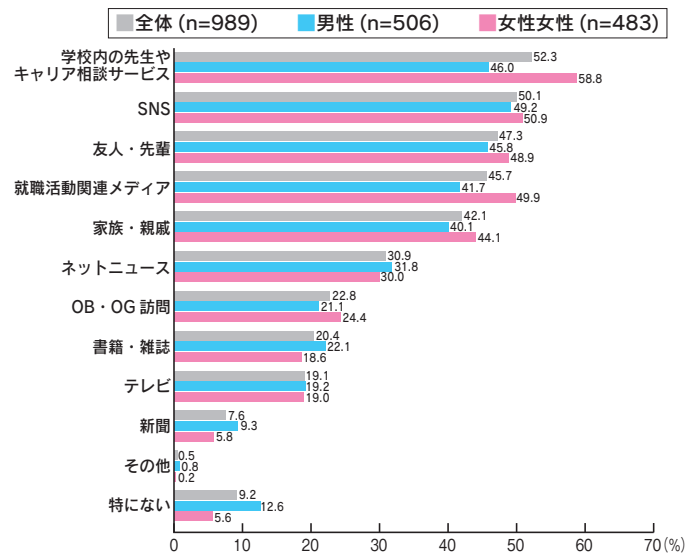
就活に関係する情報収集の手段を見ていこう。質問3「あなたは、就職活動のために、どこから情報を得ようと思いますか／得ていましたか（複数回答、質問2で『今後働く予定はない』以外を回答した人のみに表示）」という問いには、全体の52.3%が「学校内の先生やキャリア相談サービス」を選択している。

男女別に確認すると、男性の最多は「SNS」の49.2%で、以下「学校内の先生やキャリア相談サービス」46.0%、「友人・先輩」45.8%、「就職活動関連メディア」41.7%、「家族・親戚」40.1%と続く。一方、女性の最多は全体と同じく「学校内の先生やキャリア相談サービス」で58.8%と、6割近くが回答している。それ以下の結果は、「SNS」50.9%、「就職活動関連メディア」49.9%、「友人・先輩」48.9%、「家族・親戚」44.1%となった。わずかではあるものの、女性よりも男性のほうが、友人や先輩、家族など、人とのつながりを活用した情報収集を行っていることがうかがえる。

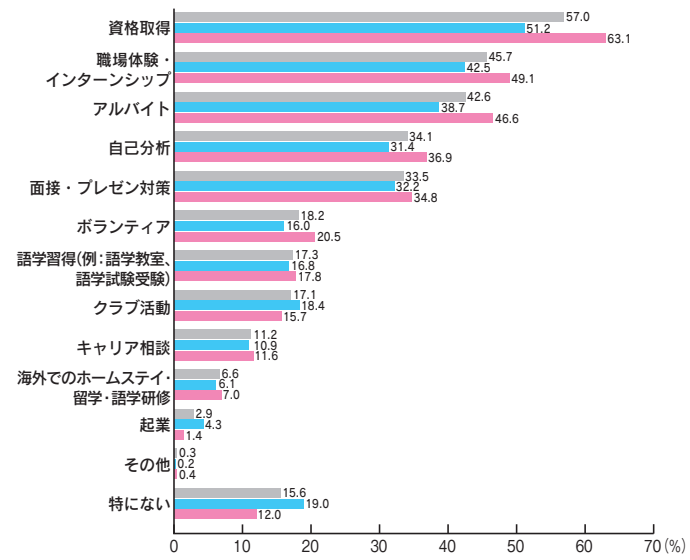
また、「SNS」が約5割に上る一方、伝統的なメディア系の「テレビ」「書籍・雑誌」は全体・男女別共に約2割前後にとどまり、さらに「新聞」は7.6%と、1割にも満たない結果となった。これには、幼少期からスマートフォン等が与えられるなど、いわゆる〝デジタルネイティブ〟と呼ばれるように、SNSが身近な存在となっている現代の若者ならではの回答と言えそうだ。

■就活情報を得る手段

質問3：あなたは、就職活動のために、どこから情報を得ようと思いますか／得ていましたか。（複数回答、質問2で「今後働く予定はない」以外を回答した人のみに表示）



質問4：就職活動を意識して、取り組んでいるもの / 今後取り組もうと思っているもの／過去に取り組んだものはありますか。（複数回答、質問2で「今後働く予定はない」以外を回答した人のみに表示）



（資料：日本財団『第68回18歳意識調査「就職・仕事観」調査報告書』）

就活対策として取り組む内容も興味深い。質問4「就職活動を意識して、取り組んでいるもの／今後取り組もうと思っているもの／過去に取り組んだものはありますか（複数回答、質問2で『今後働く予定はない』以外を回答した人のみに表示）」の問いに対しては、全体の57.0%が「資格取得」と回答し最多となった。また、「自己分析」（34.1%）、「面接・プレゼン対策」（33.5%）など、実際の選考に直結する準備に関連した回答が3割を超えている。さらには、「ボランティア」（18.2%）、「クラブ活動」（17.1%）など、面接時のいわゆる「ガクチカ」でテーマとして活用できる取り組みが選ばれているのも興味深い。

「資格取得」に関しては、女性は特にほかの項目と比較しても大きく突出しており、「資格取得」63.1%、「職場体験・インターンシップ」49.1%、「アルバイト」46.6%という結果となっている。男性も同じく「資格取得」が最多で51.2%ではあるものの、以下「職場体験・インターンシッ

6面に続く

北海道 「とかち創生学」 北海道労働局 職業紹介状況

北海道本別高等学校
「とかち創生学」で学ぶ地域社会の実情 立ちすくむ生徒を企業就職に導く

北海道本別高等学校（北海道中川郡本別町、五條政人校長）では、地域と協働して主体性、思考力、自己有用感などの社会から求められる〝確かな力〟を持つ生徒を育成している。進路指導部長の西股成海教諭を訪ね、効果を上げる進路指導についてお話をうかがった。

●地域資源を活かす学び

本校の前身は、昭和17年創立の「本別町立本別中学校」です。以降、学制改革や改称を経て、令和4年に創立80年を迎えました。「創意実践」を校訓に掲げ、これまで1万2,000人を超える卒業生を送り出してきました。

「本高から始まる 本高で始める 夢への挑戦」を合言葉として掲げ、生徒が「なりたい自分」を見つけることができるよう学びを展開しています。例えば、「総合的な探究の時間」の中で「とかち創生学」を学びます。これは、人や自然、歴史、あるいは文化や産業といった地域の教育資源を活かした学びのことです。令和6年度は、「本別町の魅力」について調べて発表を行い、町の魅力・課題を再発見しました。

進路指導部長 西股 成海 教諭

3年次に進級を果たすと、まずは4月にクラスの担任教諭とは別に進路指導に当たる担当教員が、生徒一人につき一人割り当てられます。学校全体で取り組む制度の一環で、生徒が志望する分野や相性を考慮して担当教員を決定、指導を行います。指導といっても、教員から動くのではなく生徒のほうから教員に相談するという形をイメージしています。主に、「総合的な探究の時間」で作成した志望理由書や履歴書の確認をはじめ、面接練習などがあります。最終的には担任教諭が確認を行いますが、その前段階で進路指導担当教員が確認し、担任と情報を共有します。

●多彩な進路行事を効果的に

進学志望の生徒には、3年次の4月頃に校外で行われる進路相談会に参加する時間を設けています。一方、就職希望の生徒には十勝教育局の担当者の方に来校していただいて、効果的な自己ピーアールの方法など、進路決定に向けて準備を着実に進めていきます。

令和7年3月に卒業し、就職の道に進んだ生徒の傾向として、なかなか自分から動き出すことができない者が少なからずいました。

担当教員による指導もありますが、初歩的な課題として「自分が本当にやりたいことは何か」「どのような職種が向いているのか」「どの企業が良いのか」が分からず、結果的に就職活動に向けた動き出しが遅れたり、求人票を見るタイミングが遅くなったりしてしまう状況がありました。就職に対する意欲があるにもかかわらず「知らない」「分からない」という状態に陥ってしまい、誰にも助けを求めることができずに立ちすくんでいました。これを解消するために、担当教員との会話やアドバイスをもとに企業を絞り込み、スケジュールを再設定することでなんとか就職先を決めることができました。

今後は、このような課題を踏まえて、生徒と企業側が実際に話をすることができる「企業研究会」や「就職説明会」の機会を創出しつつ、先輩卒業生から就職活動や社会で働くことに関して「講話」という形で話を聞く機会を作っていきたいと考えています。

本校では、就職する生徒の多くが十勝管内を含む地元地域で働いています。志望業界・職種を見ると本別町内では事務をはじめとする建設や農業協同組合、十勝管内にまで広げるとサービス業や製造業に進む生徒が多くなっています。地元で働く理由の一つに、将来の一人暮らしを念頭に置いて、その時のために貯金しやすい自宅からの通勤が可能であることを重視しているようです。

生徒の「知らない」「分からない」というSOSを未然に防ぐため、今後は生徒が志望進路に関する知識が得られる機会をより増やしていくつもりです。

Data & Fact
新規高卒予定者の求人倍率3.79倍 内定率が全拠点で8割超 北海道労働局

●9割を超える内定率

厚生労働省北海道労働局は4月1日、「令和7年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況（2月末現在）」を公表した。

発表によれば、令和7年3月に道内の高校を卒業予定で、かつ就職を希望する「求職者数」は、前年同期に比べて18人（0.4%）増加の4,840人だった。

これを男女別で見ると、男子は2,859人（同4.0%増）、女子は1,981人（同4.5%減）だった。

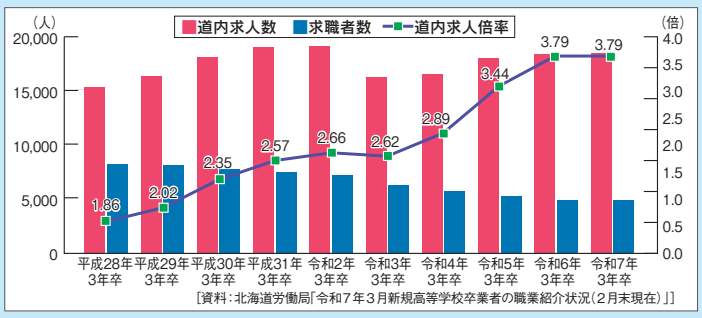
また、「就職内定者数」は4,679人（同0.3%増）。「就職内定率」は96.7%で、「道内求人倍率」は前年と同様の3.79倍だった。これは、過去10年間で最も高い数値を記録した。

●産業・職業別で見る内定状況

「主要産業別」に目を向けてみよう。「道内求人数」は「建設業」が4,207人と最も多く、以下「卸売業、小売業」3,402人、「製造業」2,678人と続いた。「道内求人充足率」を見ると、最も高いのは「金融業、保険業」54.9%（同5.80㌽上昇）。以下、「情報通信業」38.5%（同13.20㌽上昇）、「複合サービス事業」31.8%（同9.9㌽低下）が続いた。

「主要職業別」はどうか。求人数を確認すると、「生産工程」3,909人が最も多く、「サービス」3,409人が続いた。就職内定者で最も多いのは、「生産工程」924人だった。以下、「事務」700人、「サービス」588人と続いた。最も少なかったのは「建設・採掘・運搬」の388人だった。

■求職者数・道内求人数・道内求人倍率の推移



［資料：北海道労働局「令和7年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況（2月末現在）」］

また、充足率においては、「事務」39.9%（同0.70㌽減少）が最も高く、これに「生産工程」23.6%（同2.00㌽上昇）が続いた。

●北海道全域で高い内定率

道内の拠点別就職内定率を見ると、最も高かったのは「網走」100%（同7.6㌽上昇）で、以下「北見」98.8%（同1.1㌽上昇）、「旭川」98.7%（同0.9㌽低下）が続いた。「紋別」85.4%（同11.7㌽低下）が最も低い内定率ではあるものの、80%台後半を示しているほか、これ以外の拠点でも90%台後半を示しており、北海道全体の内定率が高いことが分かる。

北日本エネルギー株式会社札幌支店
（令和7年7月、現・北日本石油株式会社より名称変更予定）
エネルギー総合企業として事業展開中！
会社情報
●基幹事業　ガソリン等石油製品の販売、新車・中古車の買取・販売、カーリースなど
●設立　1959年（昭和34年）
●資本金　90,000,000円
●従業員数　995人
会社の強み・社風
半世紀以上にわたり石油製品販売業に携わり、業界トップクラスを誇る中核企業です。総合エネルギー企業として安定供給と地域に密着した持続的なサービスの向上を追求しています。危険物研修や整備士研修など、あらゆる業務に優先して人材育成に取り組んでいます。
〒007-0847 札幌市東区北47条東13丁目3-10
TEL 011-723-6411
URL https://www.kitanihon-oil.co.jp

有限会社弘栄電気
広大な鉄道ネットワークの大動脈を造る
会社情報
●基幹事業　在来線および新幹線で使用する電車線の架線新設・修繕　など
●設立　1974年（昭和49年）
●資本金　3,000,000円
●従業員数　16人
会社の強み・社風
私たちは、JR北海道・JR東日本の電車架線工事などを行い、鉄道の大動脈である電力の安定供給の一翼を担う会社です。
高い技術力を未来に伝承するために万全な「安全対策」、古い概念にとらわれない「働きやすい環境」を整備しています。
〒047-0265 北海道小樽市春香町339
TEL 0134-62-3524
URL https://kouei-dn.com

三愛自動車工業株式会社
お客様のカーライフに寄り添う仕事
会社情報
●基幹事業　自動車の車検整備、鈑金修理、車両の販売　など
●設立　1965年（昭和40年）
●資本金　15,000,000円
●従業員数　104人
会社の強み・社風
当社には、車検・修理・点検などのためにさまざまな車が集まります。「クルマとクルマに関わること」が好きな方はもちろん、「クルマ」やお客様との関わりを通じて、プロフェッショナルとして成長していきたい方を求めています。
〒007-0842 札幌市東区北42条東19-1-1
TEL 011-781-9111
URL https://www.san-ai-jikou.co.jp/

株式会社ノールテック
北海道の電気を守る
会社情報
●基幹事業　送電線の建設（基礎、鉄塔組立、架線）・保守
●設立　1998年（平成10年）
●資本金　37,000,000円
●従業員数　37人
会社の強み・社風
送電線の建設・保守を行うことで、電気のある生活を支えます。景気動向に左右されない安定感が魅力です。また、入社後から作業従事に必要な特別教育や技能講習を行うなど、研修も充実。技術技能の向上や資格取得により、安全に仕事ができる環境を整えています。
〒007-0880 札幌市東区丘珠町524-105
TEL 011-789-8633
URL https://www.nordtec.co.jp

進路のてびき2026 就職活動スタート号
就職・公務員編
リニューアル新装刊
近刊　5月発行
優良&堅実経営の業界&企業研究のための最新情報!!
＊デザイン・誌面内容等は予告なく変更される場合があります
準備編　就職する前に知っておこう！
実践編　「就職活動」に備えるために
公務員編　社会に奉仕する公務員への道
お問い合わせ　ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

東北 「者づくり」に取り組む 進路相談会・業界研究会

株式会社青森クリエイト 原子力施設・企業に必要なサービスを提供 充実した教育・研修制度で「者づくり」

株式会社青森クリエイト（本社青森・上北郡六ヶ所村、安達克弘代表取締役社長）は、〝原子力業界の総合職〟として、原子力施設の工事や放射線管理、設備の運転業務などさまざまなサービスを提供し、六ヶ所村のエネルギー産業の維持・発展に貢献している。高校新卒入社先輩社員のメッセージのほか、特色や教育体制を紹介する。

●〝原子力業界の総合職〟

株式会社青森クリエイトは平成14年、原子力施設の高度なメンテナンスを手がける株式会社アトックス（本社東京・港区）のグループ企業として設立された。「エネルギー関連産業の発展に寄与し、地域の発展と社員の幸福に貢献」するという経営理念のもと、原子力業界において多様な業務に携わっている。

拠点となる六ヶ所村は、

六ヶ所村のエネルギー産業に貢献

豊かな自然環境を背景にした漁業・農業が盛んであるのと共に、多くの原子燃料サイクル施設やその関連企業が集積するエリアとしても知られる。大規模風力発電施設や石油備蓄基地、また国際核融合エネルギー研究センター等が林立する「エネルギーの村」として有名だ。

原子力に関わる施設・企業の多くは、原子力発電をサポートする原子燃料サイクル施設を稼働させることで、電力を安定的に供給する役割と機能を果たしている。青森クリエイト社はその中にあって、〝原子力業界の総合職〟として原子力関連の施設・企業が必要とするさまざまなサービスを提供。国の指導のもと、公益財団法人放射線影響協会・放射線従事者中央登録センター（本部東京・千代田区）が主体となって運営している「放射線管理手帳」の発行にも携わるほか、機器・アクセサリのメンテナンスや設備の運転操作、また放射線管理や施設の出入り管理・清掃・洗濯など、あらゆる労働力を提供することで六ヶ所村のエネルギー産業を支えている。

●社員を第一に考える社風

青森クリエイト社の特色の一つが、社員に対して「受講者ファースト」をモットーとする人材教育や研修を実施していることだ。研修では、社員が自分のこととして捉えて欲しいとの狙いから、実技訓練・ディベート等を織り交ぜながら多彩なメニューを実施することが多いという。例えば、「体験型・新入社員研修」では、社会人に必要な意識・コミュニケーション・考え方を学ぶことで、現場配属後に専門的な知識を無理なく習得できるような力を養う。

令和5年4月、高校を卒業してすぐに入社した菅原弘ノ介氏は、青森クリエイト社の教育制度について「業務上必要な資格はすべて会社負担で取得できるため、自分を高めていくことができます」と、振り返る。また、業務の多様さにふれながら「今年から新しい業務にチャレンジすることになり、大変な面も少なくありませんが、新しい仕事に挑戦するのが好きなので充実しています」と、前のめりな姿勢を隠さない。

●目指しているのは「者づくり」

「物づくり」ではなく、「者づくり」の会社であると自負するのも青森クリエイト社の象徴的なエピソードだ。その一環として、サー

原子力施設の維持・運用等を行う

ビスを直接提供する従業員の人間形成や環境整備を重要視しているため、社員同士の連携が容易な「近さ」を意識した組織づくりに余念がない。

菅原氏は、新入社員に求める人物像として、青森クリエイト社には顧客からの依頼を、それ以上の仕事に仕上げる風土があるため、協調性のある素直な考え方が必要だと考える。高校生に対して、自分だけの強みを見つけることが実社会での成長に直結すると言及した後、「いまという時間を一生懸命楽しんで欲しい」と、メッセージを送った。

青森クリエイト社では、これからも多彩な業務を提供し、原子力業界において安心・誠実なパートナーとして活躍していく。

Event Report ライセンスアカデミー 進路相談会

東北+関東 専門学校の有力校など続々 企業ブースの初導入に大きな注目！

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー仙台支社（仙台市）は、高校の進路指導教諭と地元企業等をつなぐ「進路相談会」を全国各地で開催している。本稿では、岩手県花巻会場で実施されたイベントの様子や参加者から寄せられた声をリポートする。

●企業ブースを初めて導入

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー仙台支社（仙台市）はこのほど、岩手県花巻市内の高等学校に通う生徒を対象とする「進路相談会・業界研究会」を開催した。

この研究会は岩手県花巻市において例年実施されるもの。卒業後の進路を検討している生徒に向けて、進路全般に関する理解の深化を図る進路イベントだ。企業の人事・採用担当者はもちろん、大学・短期大学・専門学校等の広報担当者のほか、入試セクションの担当者と直接交流できる点が大きな特徴の一つだ。

今回の実施に際して注目を集めたのは、就職を考えている生徒を想定した企業ブースを初めて導入したことだ。「大学・短期大学・専門学校ブース」を「ホテルグランシェール花巻」、「花巻市定住交流センター（なはんプラザ）」で「企業ブース」というように、いずれも花巻市内にある施設を会場として使用。当日は両会場ともに大きなにぎわいを見せた。

●鮮度の高い情報を対面で

大学・短期大学・専門学校ブースでは、大学校を含む国・公立の高等教育機関5校と、私立の大学・短期大学7校が、また専門学校・専門教育機関も、地元・東北地区からは40校以上、東京を含む関東などからは有力校・大手校などが20校以上参加し、最新の進路情報を提供した。

一方、企業ブースには、岩手県内の地元企業に加え、仙台方面や関東・名古屋方面を拠点とする企業も出展し、計21社が参加。「サービス・販売」「食品」「製造」「建築・土木」「警備」など、さまざまな業種・職種が集まった。

イベントには、今回で9年間連続となる花巻東高校などの生徒が参加した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が落ち着いて以降は、1・2年次の生徒約400人で参加しているという花巻東高校。同校のある教員は、「地

企業ブースの会場となった花巻市定住交流センター（なはんプラザ）

元志向の強い生徒が多くいる中で、このイベントを通して視野を広げる者が少なくありません」と、相談会・研究会参加の意義にふれるのと共に、成果に自信をにじませる。

ラ社では、今後も高校生の進路選択を支える進路・キャリア系行事を開催し、進路に関する最新の情報を発信することで、高校生と大学・短期大学・専門学校・企業等のマッチングを図っていく。

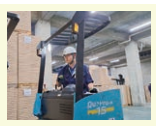
星野リゾート青森エリア
お客様の「旅を楽しくする」
会社情報
●基幹事業 星野リゾートグループとしてのホテル・旅館運営
●設立 2006年（平成18年）
●資本金 3,000,000円
●従業員数 295人（令和7年4月現在）
会社の強み・社風
変化が目まぐるしい時代の中で私たちが大切にしていることは、新たなサービス創造や地域魅力の発掘、オペレーション構築など、常に変化を恐れず挑戦する姿勢です。日々の業務で蓄積した気づきやアイデアをチームメンバーと議論しながら形にしていくことができる職場です。

〒033-0044 青森県三沢市字古間木山56
TEL 0176-53-5156
URL https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/oirasekeiryu/

株式会社キタセキ
信頼の品質と安定供給で日本の物流を支えます
会社情報
●基幹事業 大型サービスステーション（ガソリンスタンド）の運営
●設立 1975年（昭和50年）
●資本金 50,000,000円
●従業員数 350人
会社の強み・社風
さまざまな経営環境の変化の中、当社は的確に対応して成長し、令和6年8月で創業50年を迎えました。今後多くの課題が待ち受けていても、当社が勝ち残っていき、さらに飛躍する会社だと確信しています。共に「会社＝社員」のより良い将来を展望し、邁進していきましょう。

〒989-2493 宮城県岩沼市相の原3-1-6
TEL 0223-24-1661
URL http://www.kitaseki.co.jp/

協和運輸倉庫株式会社
空間と物流のクロスロード
会社情報
●基幹事業 倉庫サービス、物流サービス、人材派遣、情報システム
●設立 1962年（昭和37年）
●資本金 1億円
●従業員数 151人（令和7年4月現在）
会社の強み・社風
宮城県を中心とした倉庫管理・流通加工や、東日本エリアへ物流サービスを展開している会社です。安全でスピーディーな輸送・安心の商品管理、環境にやさしい物流を提供しています。単にモノを保管し運ぶ物流から、よりモノの価値を高める物流へ対応します。



〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹3-6-10
TEL 022-237-7311
URL https://www.kyowa-unyu-soko.co.jp/

トヨタ自動車東日本株式会社
東北から世界へ
会社情報
●基幹事業 トヨタ車の企画・研究開発・生産
●設立 2012年（平成24年）
●資本金 68億5,000万円
●従業員数 約7,000人（令和7年4月1日現在）
会社の強み・社風
平成24年に東北を中部・九州に次ぐトヨタ国内第三の拠点とするために誕生した当社は、コンパクトカーづくりの専門集団です。東北を基盤に地域と一体となりながら、高い技能と技術力をもって東北のモノづくりの力をグローバルに発信。新たなクルマづくりを実現していきます。

〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1
TEL 022-765-6000
URL https://www.toyota-ej.co.jp

株式会社平和住宅情報センター
快適な仙台ライフの実現をサポート
会社情報
●基幹事業 賃貸仲介事業、賃貸管理事業、資産運用事業など
●設立 1990年（平成2年）
●資本金 10,000,000円
●従業員数 140人
会社の強み・社風
仙台市を中心に不動産の賃貸仲介・管理・売買を行う当社は、顧客のニーズに応じて最適なご提案ができるよう体制を整えております。「生活の基盤となる住まいを提供する」ことへの使命感と責任感を強く持ち、未来を見据えた事業展開を通じて地域社会に貢献します。

〒981-8004 仙台市泉区旭丘堤2-21-4
TEL 022-234-6011
URL https://www.heiwajuutaku.com/

大学・短期大学、企業の多様な取り組みや活動を「学び」&「キャリア」の視点と取材で多面的に描き出します

●高等学校教諭のみなさまに愛されて四半世紀

『大學新聞』が創刊したのは、平成12(2000)年1月。
高校生の進路指導に役立つ大学・短期大学の情報や教育現場の現状を取り上げる月刊専門紙として誕生しました。

高等教育をめぐる情勢や教育行政、大学入試の動向、また、高校生・大学生を取り巻く就職環境や労働市場、キャリアデザインなどに資する情報もお届けしています。

先行きが不透明で見通すことが困難な時代だからこそ、より確かな進学・教育情報や就職市場動向などをお伝えする『大學新聞』を、ぜひご活用・ご愛顧ください。

- ●全国の大学・短期大学・高等学校にお届けしています
- ●大学・短期大学など、高等教育情報に特化した日本唯一の月刊専門紙
- ●優良企業や堅実経営企業などの「社会貢献活動」や「SDGs研究」「高企連携」「学社融合」など、「学び」と「職業」「業界」、そして「仕事」に関するキャリアデザイン系領域の最新ニュースやトピックが満載
- ●オープンキャンパス・グローバル系・企業の最新インフォメーションも充実

詳しくはウェブサイトにアクセス！

大學新聞 大学新聞社
https://daigakushinbun.com
本社 東京 支局 札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-17-24
電話［編集］03(5925)1668(代) ［営業］03(5925)1931(代)

関東・首都圏 ましこ未来大学「高企連携」の推進

栃木県立益子芳星高等学校 地域活性化を目指す独自の探究活動 将来の担い手をつくる「ましこ未来大学」

平成17年4月、「栃木県立益子高等学校」と「栃木県立芳賀高等学校」の統合により開校し、令和7年度に創立20周年を迎えた栃木県立益子芳星高等学校。総合的な探究の時間「ましこ未来大学」の取り組みについて、前田隆志教諭に具体的なお話をうかがった。

●幅広い志望進路に対応

栃木県立益子芳星高等学校では、スクール・ミッションに「多様な学習機会や地域と連携した社会体験活動を通して、地域社会の未来を担う人間力を備えた人材を育成する学校」を掲げている。

令和6年4月入学者からは「単位制」を導入し、さまざまな教科で少人数授業を実践。1年次は、共通の科目を全員が履修。2年次からは「進学」「情報スポーツ」「ビジネス」「食物調理」「デザイン」「保育」の6コースに分かれて志望進路に合わせた学びを深めていく。実践的な専門科目や資格に挑戦できる「ライセンス教育」、地域の伝統文化・陶芸の授業など、特色ある教育活動に向けられる期待は小さくない。

小宅古墳群での現地学習

●地域と協働する探究学習

令和3年度、同校では、進学コース2年次生を対象に「総合的な探究の時間」を活用し「ましこ未来大学」に取り組んでいる。それまで益子町の生涯学習課で実施していた「ましこ町民大学」を高校生向けに内容を吟味し、地元高校による地域づくりの担い手育成と活力ある地域社会の形成・継続を目指している。

令和6年度は、町内の小宅古墳群で自然保持に関する現地学習のほか、地域課題の解決に向けたアイデア出しのトレーニングやワークショップを実施した。

昨年末の12月には、実践発表として生涯学習振興大会内で「駄菓子屋楽校（だがしやがっこう）」を開催。生徒が半年間をかけて考案した「クリスマスツリーづくり」「ボウリング」などの店舗を中央公民館のロビーやホワイエに出展。当日はのべ600人の親子連れなどが来場し、ふれあいを楽しんだという。

世代間交流の場となった「駄菓子屋楽校」

探究活動を担当する前田隆志教諭は「益子町には、高校生が新しい物事に挑戦することをあたたかく見守る雰囲気があります。活躍の場が保証されているという安心感の中で、生徒も地域の方々との交流を深めることができています」と、手応えを語る。

また、ましこ未来大学での経験を契機に、地域貢献したいという想いから志望進路を考える生徒も出てきたようだ。益子芳星高校では、今後も地域と連携した社会体験活動による人材育成に注力していく。

Event Report ライセンスアカデミー 情報交換会 広がる高校新卒就職の可能性 専門高校×企業ミーティング

進路情報研究センター・ライセンスアカデミーはこのほど、東京・新宿の本社屋において「工業・農業・商業高校×企業就職ミーティング」を開催した。

これは、高校生の可能性を社会生活の中で開花させるべく、高校教諭と企業の人事・採用担当者が情報や意見交換を行い、相互理解を深めることを目的とする進路行事の一つだ。

少子化によって労働力不足が深刻化する中で、高校新規学卒者の採用に注力する企業が少なくない。その中でも、工業・農業・商業科などの専門高校生は、実習で現場の雰囲気を知っていることから即戦力として注目を集めている。

当日は、高校7校、企業11社が参加。高校側には「独自の就職指導の取り組み紹介」「企業側にお願いしたいこと」について事前にアンケートを実施し、これらの回答内容をもとに高校と企業が行う「パネルトーク」が目玉企画となっていた。

参加したある高校教員からは「いまの高校生は、スマートフォンが主な情報源です。企業のウェブサイトやSNSアカウントの情報を分かりやすく整理してもらえると、応募先企業を検討しやすくなるように思います」という声が上がった。

また、ある企業の人事・採用担当者は「時間が足りないと感じるほどに高校の先生方や参加企業のみなさまとの相互理解を深めることができました」と、大きな手応えを感じたようだ。

ライセンスアカデミーでは、高校新卒予定就職希望者と企業のかけ橋となって、ミスマッチがない就職・採用の実現を目指している。そこから新卒就職者の早期離職を防ぎ、かつ将来の成長発展に資するような高校と企業の、いわゆる「高企連携」を推進する。

今後も、就職環境の変化や産業社会の変容をキャッチアップしつつ、高校教員と採用企業の連携強化を深めるために、多彩な就職イベントを開催していく。

東亜工業株式会社
「自動車」と「住宅」で暮らしを支える

会社情報
- ●基幹事業 自動車事業、住宅事業
- ●設立 1960年（昭和35年）
- ●資本金 3億10万円
- ●従業員数 1,281人

会社の強み・社風

東亜工業株式会社は、基幹産業である自動車と住宅のパートナーとして豊かな未来を築き、私たちを取り巻くすべての人々を幸せにしたいと考えています。

研究開発、設計、製造などの多彩な仕事があるため、さまざまなことに挑戦することが可能です。

〒373-0847 群馬県太田市西新町126-1
TEL 0276-31-7200
URL https://www.toaweb.co.jp/

株式会社日本キャンパック
高レベルな「ものづくり力（りょく）」

会社情報
- ●基幹事業 清涼飲料水などの受託製造および販売
- ●設立 1973年（昭和48年）
- ●資本金 4億1,100万円
- ●従業員数 670人

会社の強み・社風

日本キャンパックは、飲料製造を通じて、社会に貢献する受託充填会社です。メーカー各社の飲料を容器に詰めて販売しています。売り場や自動販売機などで自分が携わった製品を見つけた時、大きなやりがいや達成感を感じられるはずです。

〒370-0712 群馬県邑楽郡明和町矢島1230（群馬第1・第2・利根川工場）
TEL 0276-61-3465（採用担当）
URL https://www.nihoncanpack.jp/

株式会社イハシ（イハシグループ）
100年以上の伝統と実績で安心を提供

会社情報
- ●基幹事業 セルフガソリンスタンドやレンタカー店の運営、ガス器具の販売、リハビリ型介護施設の運営など
- ●設立 1910年（明治43年）
- ●資本金 50,000,000円
- ●従業員数 1,110人

会社の強み・社風

ライフスタイルの変化に対応する生活関連事業を行うなど、常に未来を見据えて活動しています。幅広い事業を手がける当社だからこそ、自身の可能性を広げるチャンスが多数あるため、さまざまな業務にチャレンジすることができます。

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-2
TEL 048-985-9111
URL https://ihashi-hd.net

株式会社つかさグリーン建設
緑ゆたかな日本を目指して!!

会社情報
- ●基幹事業 公共施設等の樹木剪定・植栽・芝生等の維持管理、施設や公園内の歩道整備や大型遊具の設置・土木工事 ほか
- ●設立 1977年（昭和52年）
- ●資本金 10,000,000円
- ●従業員数 5人

会社の強み・社風

加須市の本社を拠点に、ガーデン工事や造園・土木工事の分野で活躍をしている会社です。平成20年には埼玉県優秀建設工事施工者に選ばれ、造園・土木の施工技術を発揮している造園会社として成長。最新技術を学び、身につけることのできる企業です。

〒347-0102 埼玉県加須市日出安433-1
TEL 0480-73-1329
URL http://www.tsukasa-green.co.jp/ndex.html

株式会社舞浜倶楽部
誇りを持って生きる場所

会社情報
- ●基幹事業 介護保険法に基づく介護サービス事業、介護付有料老人ホーム
- ●設立 2003年（平成15年）
- ●資本金 20,000,000円
- ●従業員数 177人

会社の強み・社風

「介護のプロフェッショナルをみんなで育てていこう！」という社風が強みです。まずは介護福祉士の資格取得を目指し、その後は専門職や管理職にキャリアアップが可能です。専門性を高めながら、安心して長く働ける職場環境を整えています。

〒279-0023 千葉県浦安市高洲1-2-1
TEL 047-304-2400
URL https://www.maihamaclub.co.jp/

日本通運株式会社 フォワーディングビジネスユニット
迅速・安全、高品質な物流を提供し、社会の発展を支える

会社情報
- ●基幹事業 物流事業全般および関連事業
- ●設立 1937年（昭和12年）
- ●資本金 701億7,500万円
- ●従業員数 34,299人

注目ポイント

長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向けて「社員が自ら考え、主体的に行動する自律型人財の育成」をミッションに掲げ、社員能力開発を推進・支援するさまざまな取り組みを実践しています。仕事を通した教育を中心に、社員それぞれの役割や目指す姿、キャリアなどに合わせた多彩な研修と充実した自己啓発制度を展開し、社員一人ひとりが個性を伸ばして輝き続けるためのサポートを行っています。

会社の強み・社風

日本全国に1,100拠点以上の支店・営業所、海外56カ国／地域に915拠点を構える当社では、陸・海・空のフィールドを網羅した輸送モードと国内・外の豊富な倉庫拠点を駆使し、消費者物流から企業物流まで、多彩な事業を展開しています。

問合せ 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2
TEL 03-6284-6011
URL https://www.nittsu.co.jp/

備考 【フォワーディングビジネスユニット 各事業所】成田空港支店、羽田空港支店、横浜国際輸送支店、京浜港ターミナル支店、東京海運支店、東京ロジプロ支店、ユニット各事業所（営業、事業統括部他）

多摩電気工事株式会社
多摩地域の電力を支える

会社情報
- ●基幹事業 配電設備工事を主体とする受電設備工事、電気通信設備工事など
- ●設立 1959年（昭和34年）
- ●資本金 72,500,000円
- ●従業員数 142人

会社の強み・社風

創業から今日まで、配電設備の建設、改修、保守の業務を通じて社会生活に必要な「電力インフラ」を支えてきました。当社は、お客さまや地域のみなさまに感謝する気持ちを大切にしながら技術・技能を磨き、最高の技術と高い工事品質で社会貢献を目指します。

〒191-0065 東京都日野市旭が丘3-1-10
TEL 042-581-5351
URL https://www.tamadenko.co.jp/

北新建設株式会社
トンネル専門工事のリーディングカンパニー

会社情報
- ●基幹事業 トンネル施工、地下土木工事
- ●設立 1950年（昭和25年）
- ●資本金 1億円
- ●従業員数 500人

会社の強み・社風

当社は、トンネル工事に特化した専門工事業者です。創業以来、現場第一主義を貫き、安全で確かな品質の構造物を作り続けています。

また、給与待遇・福利厚生の改善を行い、従業員が働きやすい環境づくりにも力を入れています。

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-4-4
TEL 03-3377-4111
URL https://www.hokushin-cc.co.jp/

株式会社田子重
地域社会になくてはならない存在に

会社情報
- ●基幹事業 静岡県に14店舗のスーパーマーケットを経営
- ●設立 1972年（昭和47年）
- ●資本金 50,000,000円
- ●従業員数 294人

会社の強み・社風

地域一番店を目指して、品揃え豊富、快適な店舗づくりを心がけています。地域に密着した、人々の暮らしに必要な食料を安心・安全に提供します。教育制度が充実しており、切磋琢磨しながら技術を向上することができます。

〒425-0035 静岡県焼津市東小川2-16-14
TEL 054-627-3134
URL https://www.tagoju.co.jp/

18歳前後の若者が抱く就職・仕事への意識

若者の揺れる気持ちを理解することが早期離職の防止に直結する

1面より

プ」42.5%、「アルバイト」38.7%と、女性ほど各項目間に大きな差は生じていなかった。

給与や福利厚生の充実重視 男女で異なる理想の働き方

質問6「入社する企業を選ぶ際、特に重視する項目を3つまで教えてください」という問いに対しては、全体・男女別の結果に大きな差は見られず、「給与や待遇が優れている」が最多で52.6%（男性53.4%、女性51.7%）だった。次点には「福利厚生が充実している」35.7%（同様に33.5%、38.0%）がつけ、以下、「希望する業界である」33.2%（同33.1%、33.3%）、「ワークライフバランスが充実している」31.0%（同29.6%、32.4%）が続く結果となった。いずれも全体の3割以上が回答しており、福利厚生の充実等が企業選択に少なからぬ影響をおよぼしていると考えて良さそうだ。

一方、理想の働き方に関しては男女ではいささか趣が異なるようだ。

質問7「将来、どのような働き方を理想としますか。最も近いものを教えてください（単一回答）」という問いに対して、半数近くが選択した「まだ具体的には決まっていない」を除くと、男性では「定年まで一つの会社で働き続けたい」の27.7%、女性では「より良い就業条件・職場環境を求め、何度か転職したい」の26.5%が最も多かった。

キャリアアップを目指す手法 経済的安定を望む声多数

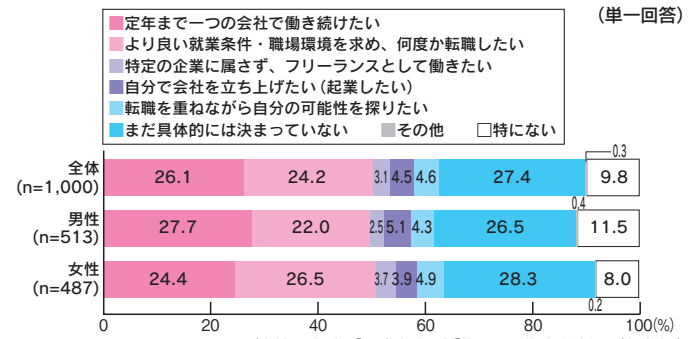
質問8「キャリアアップやスキルアップのために、どのようなことをしたいと考えていますか。あてはまるものをすべて教えてください」という問いに対する全体の結果を見ると、「仕事に関連する資格を取得する」が51.8%と、5割以上が回答している。これは男女共に最多となった。

一方、男性は次点に「本業以外に副業を行う」（20.9%）がつけるも、女性は「社内外の交流会に参加し多くの人と知り合う」（23.6%）、「会社が提供する研修プログラムに参加する」（20.3%）、「社外のセミナーや勉強会に参加する」（18.5%）などのほうが支持されていることが分かった。

質問10「仕事を通じて、最も実現したいことは何ですか」と問うと、全体および男女共に圧倒的だったのが「経済的安定（高い収入、安定した生活）」だった。全体としては44.1%を記録、男性は40.9%、女性は47.4%だった。そのほかの項目を見ると、「自己成長（スキルアップ、能力向上）」16.5%（男性17.0%、女性16.0%）、「社会貢献（人や社会の役に立つ）」14.0%（同様に14.6%、13.3%）と続くも、いずれも2割にも達していない。やはりと言うべきなのか、多くの若者が、経済的な安定を重要視していることが分かるだろう。

■理想の働き方

質問5：将来、どのような働き方を理想としますか。最も近いものを教えてください。（単一回答）



（資料：日本財団『18歳意識調査「第68回―就職・仕事観―」報告書』）

ハラスメント行為への意識 女性の意識の高さが回答割合に反映

ハラスメントに関してはどうか。同調査では具体的な質問の前に、「近年、職場でのハラスメントや、企業のコンプライアンス（企業倫理や法令を守ること）違反が問題視されている。ハラスメントとは、意図的・無意識的に関わらず、相手を不快にさせたり苦しめたり悩ませたりする行為全般を指す」という趣旨の文章を提示した上で、「職場での主なハラスメントには、上下関係や権力関係が生じる中でのパワーハラスメント（以下、パワハラ）、相手方の意思に反する性的言動のセクシュアルハラスメント（以下、セクハラ）がある」と前置きして問うている。

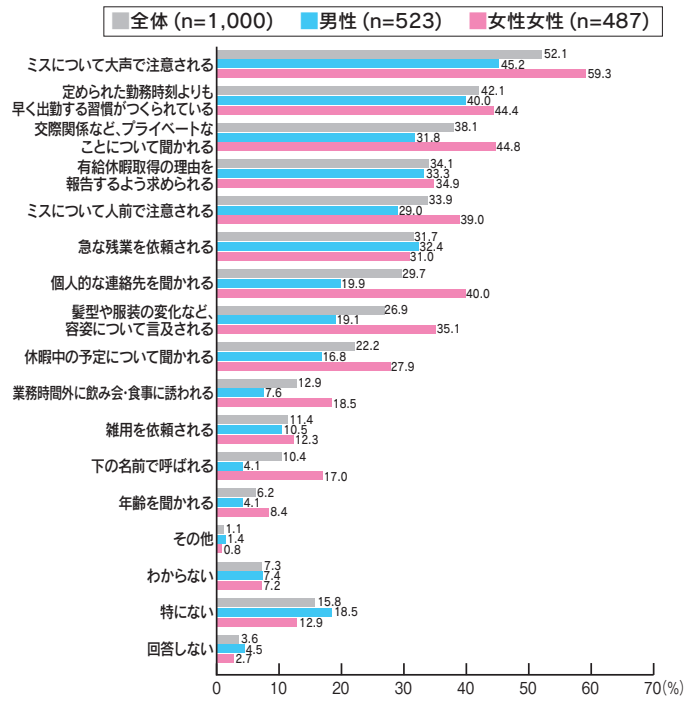
質問5「次のうち、仕事の場で、上司や同僚、取引先の人から受けた場合にハラスメントだと思う行為をすべて教えてください（複数回答）」の設問に対して最多回答となったのは、「ミスについて大声で注意される」で、全体の52.1%を占めている。

ほとんどの項目で、女性の回答の割合は男性よりも高くなっている点には注目しておきたい。

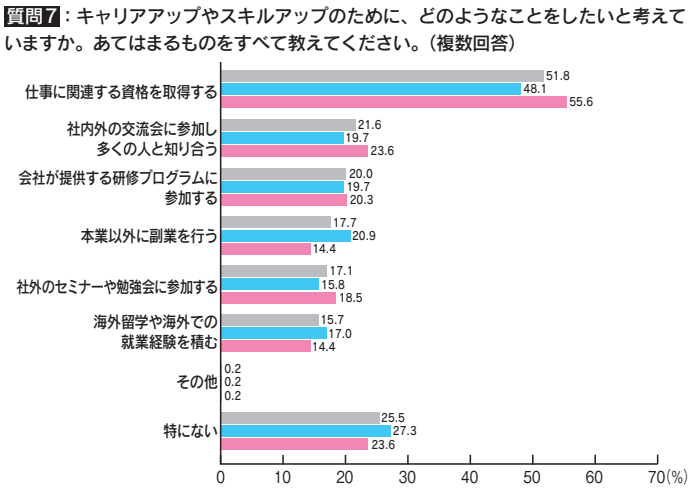
特に「ミスについて大声で注意される」（男性45.2%、女性59.3%）、「交際関係など、プライベートなことについて聞かれる」（同31.8%、44.8%）、「個人的な連絡先を聞かれる」（同19.9%、40.0%）、「髪型や服装の変化など、容姿について言及される」（同19.1%、35.1%）、「下の名前で呼ばれる」（同4.1%、17.0%）などでは、結果は顕著に差が出ていることが分かった。一方、「急な残業を依頼される」は、わずかではあるものの男性の回答割合が女性を上回り、それぞれ32.4%、31.0%という結果となった。

■入社する企業を選ぶ際に重視すること

質問6：次のうち、仕事の場で、上司や同僚、取引先の人から受けた場合にハラスメントだと思う行為をすべて教えてください。（複数回答）



質問7：キャリアアップやスキルアップのために、どのようなことをしたいと考えていますか。あてはまるものをすべて教えてください。（複数回答）



（資料：日本財団『第68回18歳意識調査「就職・仕事観」調査報告書』）

また、ハラスメント行為として「業務時間外に飲み会・食事に誘われる」を挙げる割合も一定数いることが分かったが、別項として掲げられた質問9「職場での飲み会やイベントについて、どのように考えていますか。参加したいと思うかどうかと、その背景について最も近いものを教えてください（単一回答）」においては、「参加したい」と考える背景として、全体の46.9%が「職場の人と仲良くなる機会だと思う」と回答。しかしながら、29.3%が「新しい人脈を広げる機会だと思う」としていることには留意しておきたい。

他方、「参加したくない」と考える背景には、「気を遣い負担になるものだと思う」との回答が男女とも最も多く、かつ女性の回答割合が男性39.6%に対して22.1ポイントも高い61.7%を示していた。

特に女性は「上司や同僚からセクハラ・パワハラを受ける懸念があるものだと思う」（14.3%）が次点につけ、やはり飲み会がハラスメント行為につながると考えていることが分かった。思い込みや先入観との指摘もありそうだが、それだけ忌避されている状況があることは認識しておくべきだろう。一方、男性は「楽しくなさそうだと思う」（18.7%）が続く結果となり、男女で回答内容に差が出ている。

何をハラスメントと感じるかは各人でそれぞれ異なる。だからこそ、迎合するのではなく、若者の早期離職の要因を出来得る限り減らし、長く勤められる環境を整えていくためにも、企業側は若者の意識を理解する必要があるだろう。

東海・北陸 進路指導研究会

地域探訪 静岡を考える

Event Report 進路指導研究会 キャリア教育支援協議会

キャリア教育支援協議会 進路指導研究会で存在感

キャリア教育支援協議会（本部東京・新宿区）は２月７日、岐阜県内の高校教員と企業の人事・採用担当者を対象に進路指導研究会を開催した。年度末の総括の場として、さまざまな情報や意見の交換が行われた当日の様子をリポートする。

高校と企業の円滑な連携を実現し、若年層の早期離職を防ぐ「高企連携」を推し進めるキャリア教育支援協議会（本部東京・新宿区）は前年度末、岐阜県内の高校教員と地元企業の人事・採用担当者を対象とする「進路指導研究会」を、多治見市産業文化センター研修室（岐阜県多治見市）において開催した。当日は、県内の高校８校と企業８社が参加した。

研究会の開催に当たっては、参加する教員や企業に対して事前アンケートを実施。研究会では、その結果をもとに教員と企業双方の立場から意見や情報の交換が行われた。高校現場での今後の就職指導や企業の採用活動、また入社後の教育につなげることが目的だ。

情報や意見を交換し合い、今後の進路指導や採用活動に活かしていく

事前アンケートの「応募企業を選ぶ時に重視している点」という生徒対象の設問に対する回答で多かったのは、上から順に「休日日数の多さ」「給与の高さ」「先輩の採用実績」「就業環境の良さ」だった。一方、教員は、応募先として生徒に勧めたいと考える企業の特徴に「就業環境の良さ」や「卒業生の採用実績」「人材育成の手厚さ」をあげていることからも分かるように、〝その会社で長く働くことができるか〟〝活躍できるように面倒を見てくれるか〟を重視し、指導していることがうかがえる。

アンケート結果から、企業は「ベースアップ状況」を見て生徒は応募先を選んでいるのではないかとの見立てがなされたが、実際に得られた生徒の回答との乖離を受けて、参加企業の人事・採用担当者は、「私たちが考える〝応募時に重視する点〟と違い、近年の高校生は、給与よりも働き方を大切にしているようだ」と、驚きを隠さない。

企業がより多くの高校生に選ばれるにはどのようにすれば良いかと話し合う中で、入社後の教育制度や評価制度が議題にあがった。企業側は教員に対し、新入社員研修や上司、先輩との定期的な面談時間の確保など、コミュニケーション不足による早期離職防止のために取り組んでいると説明。参加したある高校教員は「働きやすさや離職防止の環境整備に注力していることが理解できました。生徒に勧めたいと思う企業が見つかりました」と、安堵の表情を浮かべた。

今回の進路指導研究会も、大きな盛り上がりの中で終了した。対面型の進路指導研修会は、アンケート結果での文字情報だけでは伝わり切らないナマの情報にふれることができる。また、教員と企業の人事・採用担当者との交流や教員同士、企業同士の交流も生まれ、双方にとって有用な会となったようだ。

Hot Angle

〝これから〟に活かす 高校と企業の視点

キャリア教育支援協議会（本部東京・新宿区）はこのほど、三重県内の高校教員と地元企業の人事・採用担当者を対象とする「進路指導研究会」を三重県総合文化センター中会議室（三重県津市）で開催。県内の高校教員10人と企業担当者９人が参加した。

三重県の高校新規卒業就職者を取り巻く状況を確認しておこう。文部科学省の発表によれば、県内の高校に在籍し、就職を希望する生徒の令和６年度における内定率は95.2%だった［文部科学省、『令和７年３月高等学校卒業予定者の就職内定状況（令和６年12月末現在）に関する調査』］。これは全国平均の91.3%を上回っている。高校新卒就職希望者に関しては、全国的な〝売り手優位〟が喧伝されており、それを感じ取れる数値となっている。

今回の進路指導研究会は「最新の新規学卒者就職状況とその採用における課題と対策について」をテーマに開催された。印象的だったのは、高校と企業、そのいずれもが苦心している様子だったことだ。ある高校教員は、これまでの実績と令和６年度の違いに、〝採用内定率の低下〟を訴え、不満をにじませた。企業側からは、例年以上に採用活動に力を入れた結果が振るわず、当初目標の採用人数を大幅に下回った現状を憂える声があがった。

このような状況を踏まえ、意見や要望、情報を交換し今後の就職指導や採用活動に活かすため、活発な議論が行われた。今回が初参加だという高校教員は「大変有意義な時間で、企業側の本音を聞き、疑問が解消した」と、手応えを語る。また、参加企業の担当者は「企業側の思いを伝えるだけではなく、高校現場の苦労を知ることができた。今後の採用活動につなげたい」と、充実した表情を見せた。

地域探訪

製造業の大きな存在感と吸収力 〝ものづくり県〟の特色と現在地

象徴的な富士山に代表される豊かな自然環境で知られる静岡県は、しかし同時に東京や名古屋などの大都市圏へのアクセスの利便性

の高さが特長で、全国有数の〝ものづくり県〟としてプレゼンスを誇っている。

県内総生産の約４割を製造業が占め、地域の経済活動を牽引する。

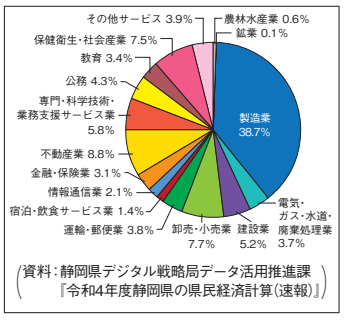
発祥の地として広く知られるように、特に自動二輪車産業が盛んだ。自動二輪車や原動機付自転車の輸出量と輸出額が共に国内トップ（令和６年度）であり、輸出額は日本全国の４割を占めるほどだ。県内には、スズキ株式会社（本社・浜松市）やヤマハ発動機株式会社（本社静岡・磐田市）、ヤマハ株式会社（本社・浜松市）など、世界でも指折りの大手・有力企業が集積している。

プラスチックモデルも有名で、ヒット商品が次々と生まれプラモデルの一大生産地となった。出荷額は日本全国の8.5割で、国内トップ（令和４年度）だ。

文部科学省の『令和６年度学校基本調査（確定値）』によると、高校新卒就職者は全国平均で14.0%、静岡県は18.4%だった。受け皿が大きく、活躍できる機会と場所が備わっていることの表れなのだろう。

静岡県では、新たな産業活力の創造を掲げ、スタートアップ先進県に向けた取り組みや企業誘致に注力している。産業の革新を図る土地においては、好むと好まざるとに関わらず、若年層の活力がカギを握るはずだ。〝ものづくり県〟である静岡県の製造業が持つ存在感と吸収力のインパクトは小さくない。あらゆる業界で人手不足が叫ばれる昨今、日本の産業界において高校新規卒業就職希望者は大きな期待を集めており、その動向に、熱い視線が注がれている。

■経済活動別県内総生産（令和4年度）



（資料：静岡県デジタル戦略局データ活用推進課『令和4年度静岡県の県民経済計算（速報）』）

愛知陸運株式会社

時と人をつなぐ

会社情報
●基幹事業 自動車部品輸送事業、貸切（車扱）運送事業、航空貨物関連事業
●設立 1942年（昭和17年）
●資本金 4億6,500万円
●従業員数 1,398人

会社の強み・社風

トヨタ自動車株式会社の物流子会社として、愛知県を中心に全国41拠点を持つ総合物流企業です。入社後1カ月半の社内研修があり、運転技術はもちろん、会社のルールなどについても先輩がていねいにサポートします。大企業ならではの福利厚生も充実しています！

〒473-0934 愛知県豊田市前林町住吉32
TEL 0565-99-7521
URL https://www.airiku.co.jp/

株式会社ENEOSウイング東海支店

素敵なカーライフをお届けします!!

会社情報
●基幹事業 石油製品・自動車用品・保険の販売、オートリース、車検整備
●設立 1951年（昭和26年）
●資本金 1億円
●従業員数 2,044人（グループ全体）

会社の強み・社風

物流インフラ企業として社会を支える当社では、車検や洗車、リペアなど、充実のカーケアサービスを活用し、お客様との強い関係性を構築しています。挑戦を恐れない社風で、社員一丸となって業界No.1を目指し、新規事業にも果敢に取り組むことができます。

〒440-0888 愛知県豊橋市駅前大通2-81 emCAMPUS EAST4F
TEL 0532-57-3088
URL https://www.eneos-wing.co.jp

フジパングループ本社株式会社

「本仕込」のフジパンです！

会社情報
●基幹事業 パン・和洋菓子の製造と販売のほか、物流、パン製造直売店の運営など
●設立 1951年（昭和26年）
●資本金 46億8,200万円
●従業員数 約14,470人

会社の強み・社風

フジパングループでは、製パンのみではなく四つの事業を展開しています。「ホールセール」「リテイル」「デリカ」「ロジスティックス」、グループ全体で多彩な食品ビジネスを展開することで、常に変化するお客様のニーズにお応えしています。

〒467-8651 名古屋市瑞穂区松園町1-50
TEL 052-831-5152
URL https://www.fujipan.co.jp/company/

株式会社山田商会

100年分の技術で次代へつなぐインフラを

会社情報
●基幹事業 ガス設備配管工事、給排水工事、ガス・水道器具販売
●設立 1906年（明治39年）
●資本金 80,000,000円
●従業員数 620人

会社の強み・社風

東邦ガスグループの指定工事会社として、東海地区のガスライフラインを支え、今年で創業119年を迎えます。ガスの特長やリスクなどを知り尽くしているからこそ、官公庁や大手企業など多くのお客様から信頼をいただいています。

〒456-0004 名古屋市熱田区桜田町19-21
TEL 052-871-9811
URL https://ymax.co.jp/

医療法人博仁会 村瀬病院グループ

地域の方の役に立つ仕事

会社情報
●基幹事業 病院、有床診療所、通所事業、入所施設事業、居宅、包括
●設立 1957年（昭和32年）
●従業員数 661人

会社の強み・社風

介護の仕事は人の役に立つ仕事であり、「ありがとう」の言葉をダイレクトに感じられる仕事です。私たちは患者のみなさま一人ひとりの目線に立った医療サービスを提供することで、地域のみなさまから「選ばれる施設」を目指しています。スタッフ同士のつながりが強い点も特徴です。

〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸3-12-10
TEL 059-382-0330
URL https://www.murase.or.jp/

近畿・中国・四国

社会を支えるモノづくり業界「熱意」を「物語」へと昇華

サムテック株式会社

将来的にも安定した業界の「自動車産業界」自分の目標がサムテックなら実現できると感じて

大正２年の創業以来、サムテック株式会社（本社大阪・柏原市、阪口善樹代表取締役社長）は、豊富な経験と金型設計ノウハウを活かし、国内シェアの４割以上を占めるホイールハブユニットを製作している。経営管理部総務課係長・小林純氏を訪ね、新入社員研修の内容や就職採用面接のポイントなどについて聞いた。

大切なのはモノづくりへの関心 安心して働ける手厚いサポート

当社が取り組んでいるのは、自動車社会を陰から支えるモノづくり。人々の安全・安心な暮らしを支えるという、社会貢献性の高い仕事です。経験や資格がなくても、「やってみたい」「モノづくりに関わってみたい」という意欲があれば大歓迎です。実際に、未経験・無資格からスタートした社員が多数活躍しています。高校生の就職活動期間は非常に短く、企業研究や訪問に割ける時間も限られているため、当社ではお互いのミスマッチを防ぐために、職場見学や会社説明会をていねいに行っています。見て・聞いて・感じて、自分に合うかどうかを確かめていただける機会を大切にしています。

業務内容は、鍛造プレスオペレーターや金型製作、物流（フォークリフト）、品質管理などがあります。入社後は、約３カ月間の研修を経て一人ひとりの適性・状況を判断し、配属先を決定していきます。

製造の場合は、座学研修に加えて、現場実習という形でモノづくりに携わっていただきます。研修先は１カ所にとどまらず、鍛造加工や金型製作、製作ラインや物流の現場、さらには品質保証など、異なる複数の部署を横断して行います。

また、研修期間中はそれぞれの現場の所属長をはじめ、班長や係長など、さまざまな部署の「長」が座学にも対応します。社長が講師として登壇することもあり得ます。人数が多いケースでは、各３～４人の班に分かれて少人数で現場研修を行います。多くの部署で研修を行うことにより、良好な人間関係が構築され、正式配属後も各担当者が新卒就職者にとって頼れる存在になれるのではないかと期待しています。

入社後１年間は年齢が近い先輩若手社員によるOJT教育のもと、技術や作業の習熟度が向上していきます。現在、活躍している社員も、入社当初はほとんどが無資格・未経験でした。しかし、当社のさまざまな研修や実習でそうした部分をフォローし、安心して仕事ができるように導いていきました。

基礎をしっかりと定着させる 常に挑戦する姿勢を持つ

当社では、高校新卒者と大学新卒者、その両方を採用しています。業務内容にも違いを持たせています。例えば、高校新卒者が設計技師が製作した金型を使用して、オペレーターとしてマニュアルに沿って作業を進めていくのに対し、大学新卒者は製図ソフトを使用して、製品のもとになる金型づくりに従事します。

資料を作成するスキルの向上を図るため、出張研修やプレゼンテーション研修、そのほか発表会や報告会などの開催を予定していますので、参加を通して知識・経験を積み重ねることができるはずです。

新卒者に対して望むのは、失敗を恐れず、ルールにとらわれず、常に挑戦する気持ちを持って業務に臨む姿勢です。また、分からないことはなんでも質問するという積極性も欲しい。まずは基礎をしっかりと学び、先輩社員をお手本にして技術習得を目指します。アドバイスを得て、業務の中でいかに効率化を図るかということが考えられればベターですね。

出身学歴や年齢などに関わらず、例えば雑談できる場などを設けて、他者と交流できる場所を用意することも、メンタルヘルスでは大事なことだと考えています。一人ひとりの特徴に合わせてしっかりとフォローしていきます。

会社見学で質問をしよう 物語仕立てで意欲を込めて

「応募前の職場見学」や「校内説明会」では、まずは当社に少しでも興味を持っていただけているかどうかが、一番のポイントだと考えています。そのうえで、生徒のみなさんからどんなことでも構いませんので、気になることや感じたことを質問していただけると、私たちもとても嬉しく思います。たとえば、「なぜ製造業に興味を持ったのか」「なぜ数ある自動車関連企業の中でサムテックに興味を持ったのか」といったことを、自分なりの言葉で伝えてもらえると素晴らしいと思います。

近年、若者の自動車離れが叫ばれていますが、自動車業界は将来的にも安定産業です。そうしたことを私たちがていねいに説明してあげなければ、生徒のみなさんは保護者の方々に実情を伝えることは難しいでしょう。その意味で、会社概要はもちろん、事業内容に加えて、自動車業界についても嘘偽りのない情報を提供しています。「サムテックだからこそできることがある」というふうに背中を押してあげたい。当社を含めて、自動車業界に興味がある方、自分で決める決断力・責任感を持ち合わせている方はぜひとも欲しい人材です。

経営管理部 総務課 係長 小林 純 氏

できる・できないは関係なく、自分が「やってみたい」という気持ちを持ち、実際に当社に工場見学などで足を運んだ際、サムテックであれば自分の目標が実現できそうだと感じていただけたら嬉しく思います。

面接試験では、「なぜサムテックに行きたいのか」「入社して何がしたいのか」など、みなさんの熱意をぜひ物語にして私たちに聞かせてください。学校では、練習にこだわらず、言葉に気持ちを乗せるための練習をすると、良い結果が出るような気がします。

当社では面接の前に職場見学の機会をご用意していますので、ぜひ一度気軽に足を運んでみてください。

実社会で高く評価される業務姿勢

金属の塑性加工技術をベースとする製品を製造するサムテック株式会社。同社は、納入した製品が16年間連続で不具合ゼロだったことで、自動車や各種発動機および変速機などを取り扱う発注元の企業から「品質優秀賞」を受賞したほか、約20年間にわたり申告納税制度の趣旨に即して適正な申告と納税を継続していることなどから、大阪国税局西税務署より「優良申告法人」の表敬状を交付されている。「誠実にモノづくりに取り組むこと」を経営理念に掲げる同社を象徴するエピソードの一つと言えるだろう。

魅力あふれる同社は今後も、「イキイキした社員がモノづくり改革に挑み続けるグローバル企業」の実現に向けて、世の中の変化を敏感に感じ取れる感性を失うことなく、社会にとって不可欠な企業を目指していく。

一つひとつの作業をていねいにこなす

穴の大きさなど細かく確認して製作

SAMTECH サムテック株式会社

世の中の変化を先取りできる感性を磨く

会社情報

- ●基幹事業　自動車用鍛造品・フローフォーミング成形品・高圧ガス容器の製造販売
- ●代表者　代表取締役社長　阪口 善樹
- ●設立　1949年（昭和24年）
- ●資本金　95,000,000円
- ●従業員数　459人

会社の強み・社風

「より良い製品をより安く」を目指し、常に新技術・新工法の開発を進めている当社の強みは、「お客様のニーズに必ず応えられる」こと。設計だけではなく、生産設備までを造り上げられる技術力があり、真面目にコツコツと、常に向上心がある団結力の強い会社です。社員が働きやすい環境を整備しており、イベント行事や福利厚生にも力を入れております。

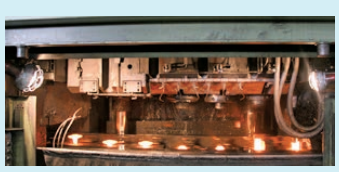
仕事紹介

事業を通して誠実にものづくりに向き合います

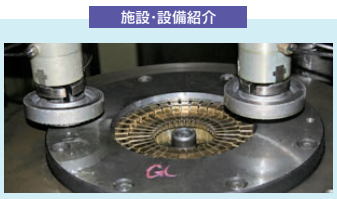
大型プレス機を使用して熱間鍛造による製品をつくる「大型鍛造プレスライン作業」や製品をカタチにする「鍛造プレスの金型製作」、フォークリフトを操作・運転して自動車部品などを運搬する「物流」（工場内運搬）などの各部門で活躍できます。

スキャリアップ　入社後3カ月間は研修、その後配属となります。1～3年間は生産現場での経験を積んでいただきます。将来的には、海外でもご活躍いただく場合があります。

施設・設備紹介



「熱間鍛造」は、鋼材（丸鋼）を予熱し、鋼材を切断。そして切断材の加熱と鍛造の連続する一貫生産方式により、高い生産性と高品質を保持しています。また、一連の全設備は当社開発のコンピューター方式により自動制御されています。



「冷間鍛造」は、熱間鍛造後に追加工します。自動車用MTギアのドッグ歯の成形やATプランジャを成形する自動ラインと、冷間鍛造のみに異形フランジを持つハブユニット外輪を閉塞成形するラインがあります。冷間閉塞成形のための装置一式は、当社開発によるものです。

「フローフォーミング」は、スピニング技術を発展させた新しい塑性加工方法です。ワークのセットから成型、NC旋盤によるバリトリミングまで、すべてロボットを駆使して、全自動かつ高い生産性を誇ります。製品精度の要となる高精度マンドレルはすべて当社製作によるものです。

問合せ　〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-18
TEL 072-977-8851　URL https://www.samtech.co.jp/

備考　［羽曳野工場］〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷1452-3
［工機工場］〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-95

九州・沖縄　地域との「共学」「共創」を推進

社会産業シリーズ 太平洋ベルト

北九州工業地帯

宮崎県立飯野高等学校
生徒の能力を大きく伸ばす科目選択
実社会で学ぶ長期実践キャリア教育

昭和40年に創立し、さまざまな地域活動を中心とする探究型学習や最先端のICT機器を活用したキャリア教育を推し進めている宮崎県立飯野高等学校（宮崎県えびの市、五反隆行校長）。進路指導部を訪ね、生徒に寄り添った手厚いキャリア教育を中心に、日常的な学びなどについても、進路指導部長・梅北瑞輝教諭にお話をうかがった。

●探究型の学びを推進

飯野高校は「凛乎（りんこ）」「清楚」「豊潤」を校訓に掲げている。「教室の外に『みらい』がある。」を学びのコンセプトにし、全国や世界で活躍できる人材の育成を目標にしているという。

同校は、探究型の学びを推進しており、ICTを活用した遠隔授業や交流活動に取り組むほか、世界越境プログラム、台湾視察研修など、日本のみならず海外とも連携した学習を実現。これからの時代に求められるであろう「学び続ける力」「課題を解決する力」「多様な人々と協働して新しい価値を見出す力」など、いま現に待望されている教育を実践している学校だ。

設置するのは、「普通科」「生活文化科」の２学科のみ。普通科はさらに、「総合コース」「探究コース」に分かれており、学科名自体は令和８年度以降、「みらい探究科」へ変更予定だという。

●地域に貢献する学び

普通科総合コースは、地域と協働して学びながら、自らの目標を定め社会で必要な力を身につけて、進学・就職を目指す。自分に合った選択科目を選べるほか、「地域貢献活動」というキャリア探究プログラムも組み込まれている。

「地域貢献活動」は、〝地域で学び、地域に貢献する〟ことを重視し、学科設定科目において１年間を通じた地域実習を必修とする。地域の事業所に毎週赴き実際の現場で活動を行うという取り組みだ。

実習では、地域の課題を発見し、高校生ならではの視点で改善策を考え、提案・実践をすることを目的としている。活動はPDCAサイクルに基づき、毎回の実習後に振り返りを行い、次回に向けた改善点などを明確にしていく。

課題解決型の実践では、生徒自身が企画会議を開き、改善策を考え企画書を作成し実習先の事務所に提出。この一連のプロセスを通して、生徒は「主体性」「協働力」「コミュニケーション力」「課題発見解決能力」といったスキルを身につけていく。

地域の病院で実習を行っていた二人の生徒は、高齢患者がベッドを利用する際の困っている様子に着目した。安全性と快適性を向上させるために、手すりに設置できるベッドカバーを自作し、実際に現場で活用されるまでのプロセスを発表したという。梅北進路指導部長は「身近な課題をもとにした取り組みが、地域の方々からも高い評価を受けている」と、誇らし気だ。

●社会課題を解決する学び

普通科探究コースは、自ら作る探究プロジェクトで地域や社会課題をグローバルな視点で考え、新たな価値を創造できる人材を目指す。大学入試等を意識したカリキュラムが編成されているほか、「地域探究活動」という社会課題や自らの関心事をテーマに掲げる活動も組み込まれている。

生活文化科は、専門領域「フード」「ファッション」「ICT」「保育」のアプローチで地域課題を解決する力を学び、身につけた「専門力」「実践力」を活かして社会貢献を目指し、人間力を高めていく。特色ある専門科目のほか、「地域支援活動」という専門力を還元するキャリア探究プログラムも組み込まれている。

病院実習で実際にベッドメイキングを行う生徒

●地域活動を中心とする教育

学科やコースに応じた幅広い視点での学修やキャリア実習で生徒の将来の選択肢を広げ、夢が実現する方向へと導こうとする熱意ある教育方針は、生徒自身の進路意識の向上や将来像の形成にも好ましい影響を与えている。次世代を担う人材の育成を目指し、そのための要素を高める教育を地域と共に展開し、今後もさらなる発展を目指していくという。

スクール・ポリシーの一つである「地域との『共学』、『共創』を推進する新しい教育活動の研究開発により、えびの市を含めた地域社会、および地方を活性化する『核』となることを目指す学校」を掲げる宮崎県立飯野高等学校。今後の教育活動にも大いに注目が集まりそうだ。

高校生のための 社会産業シリーズ❶ 太平洋ベルト

伝統の北九州工業地帯の産業構造変革
待望される成長・最先端産業の誘致と育成

北関東の茨城県から九州の大分県まで、日本の太平洋沿岸に広がる工業地帯・工業地域のことを「太平洋ベルト」といい、日本の各分野・産業を代表するリーディング・カンパニー[*1]が集積している。

太平洋ベルトを構成する一つ、「北九州工業地帯」は、福岡県北東部、関門海峡から洞海湾の奥にかけて東西約30キロ・メートルにわたり北九州市臨海部に広がるエリアだ。明治34年、官営八幡製鉄所の創業を契機に、鉄鋼産業の基盤が築かれた。

これに伴い、「重工業」「化学工業」「機械工業」「造船業」などが発展し、国内・外の需要に応える産業集積地となった。八幡が製鉄所の建設地に選ばれた理由は、日本の中国地方からの鉄鉱石と背後の筑豊の石炭を結びつける上で好適な洞海湾に位置していたからとされる。

製鉄所の拡張に伴い、これに直結した「耐火れんが」「コークス」「鉄銅」「セメント」などの生産財を中心とする関連工業や炭鉱向けの機械・電気機器工業、さらには食料品・木材などの消費財工業も発達。第一次世界大戦（大正３［1914］年～大正７［1918］年）頃には工業地帯の輪郭が形づくられ、４大工業地帯[*2]の一つとして存在感を高めた。第二次世界大戦（昭和14［1939］年～昭和20［1945］年）により大きな打撃を受けたものの、朝鮮戦争（昭和25［1950］年～昭和28［1953］年）を機に鉄鋼業を中心に復興を遂げ、現在に至る。

一方、いまや少子高齢化と人口減少は日本が抱える社会的課題だが、特に問題視されている北九州市では、産業の維持・発展にとって大きな障壁となっている。技術者や熟練労働者の不足が深刻化しており、産業の高度化に対応できる有為な人材の育成が難しくなっているとされる。

また、伝統的な重工業に依存するだけではなく、ITやバイオテクノロジー、環境関連技術などの先端産業を誘致・育成することが待望されており、スキルを磨く教育プログラムなどをいかに充実させてくかが当面の課題とされるなど、その行方も注目されている。

北九州工業地帯のプラント夜景

＊1 リーディング・カンパニー　特定の業界において主導的な地位を確立し、国内市場に大きな影響力を持つ大手・有力企業のことを指す。

＊2 4大工業地帯　京浜・中京・阪神・北九州の４つの地域を指す。戦前から高度経済成長期までに形成され、日本の工業を牽引してきた。

ALSOK九州株式会社

地域の「安全・安心」を守る

会社情報
●基幹事業　常駐警備、各種セキュリティーサービスの提供
●設立　1976年（昭和51年）
●資本金　20,000,000円
●従業員数　780人

会社の強み・社風

当グループは、社会の「安全・安心」に関するサービスを行う業者として、警備・設備などの多様なサービスを組み合わせたサービス提供を行っています。警備のノウハウは入社後にしっかりと研修を行うので、未経験の方でもご安心ください。九州各地のグループ会社でも募集を行っています。

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-17-1 コネクトスクエア博多6F
TEL 092-471-1016
URL https://kyusyu.alsok.co.jp

西日本鉄道株式会社

「にしてつにしかできないまちづくりがここにある！」

会社情報
●基幹事業　モビリティ事業・不動産事業・流通事業・国際物流事業
●設立　1908年（明治41年）
●資本金　261億5,729万円
●従業員数　4,502人

会社の強み・社風

当社は、福岡を中心に、鉄道・バスなど幅広い事業を展開する会社です。「まちに、夢を描こう。」という企業メッセージを掲げ、地域と共に歩み、共に発展していくことを目指しています。多くの人々の暮らしを支えるやりがいがあり、地域貢献を実感することができます。

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-5-7
TEL 092-734-1341（バス）／092-734-1507（鉄道）
URL https://www.nishitetsu.co.jp/ja/index.html

日鉄環境エネルギーソリューション株式会社

「限りある資源を未来につなげる」

会社情報
●基幹事業　廃棄物の処理施設・資源化施設などの環境施設の運転
●設立　1994年（平成6年）
●資本金　50,000,000円
●従業員数　約2,000人

会社の強み・社風

限りある資源を未来へとつなぐために、資源循環のしくみをつくり、持続可能な社会を実現することを目指しています。工業系出身の方はもちろんのこと、文系出身の方も当社の充実した教育体制のもと、資格取得やスキル向上に励んでいます。

〒804-0002 北九州市戸畑区大字中原46-59
TEL 093-588-7361
URL https://www.nses.nipponsteel.com

富士岐工産株式会社

「誠実」「安全」「品質」をモットーに

会社情報
●基幹事業　各種溶射・肉盛溶接・同溶接・各種プラント設計・製作
●設立　1959年（昭和34年）
●資本金　9,800万円
●従業員数　430人

会社の強み・社風

当社は、製鉄所の機械メンテナンスや関連工事を手掛けるメーカーとして誕生し、創業以来さまざまな分野でのモノづくりを行ってきました。日本の「鉄」づくりを支え、モノづくりの第一線で活躍できることが当社での仕事の魅力です。

〒807-0801北九州市八幡西区本城4-8-16
TEL 093-602-8670
URL http://www.fjk-kk.co.jp

ワタキューセイモア株式会社 九州支店

医療・観光業界を支える縁の下の力持ち

会社情報
●基幹事業　医療用寝具等の販売・医療用業務用品の販売・客室備品マネジメント
●設立　1962年（昭和37年）
●資本金　48,500,000円
●従業員数　19,370人

会社の強み・社風

当社は、病院・介護施設およびホテルでシェアトップクラスの寝具リース事業を展開しています。社会生活になくてはならないお仕事です。年間休日122日など福利厚生も充実しています。感謝の気持ちと謙虚な姿勢がモットーです。

〒845-8506 佐賀県小城市小城町227-2
TEL 0952-72-5111
URL https://www.watakyu.co.jp/corporate/gaiyo

高校生の確かな進路選びをサポートします!!

大学新聞社 ☎03-5925-1668　お問い合わせ　**ライセンスアカデミー ☎03-5925-1656**

仕事とキャリアデザインシリーズ

高校を卒業後、進学を果たしたとしても、最終的には多くの人が「働く」ことになるでしょう。「キャリアデザインシリーズ」は、就職までのプロセスはもちろん、将来のキャリアパスを切り拓いていく上で有用な資格や検定試験等に関する多様なトピックを提供し、働くことに対する意識づけを担います。

進路のてびき 就職・公務員編

■キャリアデザイン準備号
■就職活動スタート号
■就職活動大応援号

就職・仕事・資格・起業につながる学校

仕事・資格ガイド

仕事から見つける学校資料請求本

進路選択&専門学校の学びシリーズ

『アプローチマガジン』は、最終学年になる前の高校1・2年生向けに、高校卒業後の「進学」や「就職」など、さまざまな進路について整理したガイドブックです。『専門学校 進路のてびき』は、専門学校とその制度全般に関するＡ to Ｚを分かりやすくまとめています。

アプローチマガジン

■東日本版
■東海・北陸版
■近畿・中国・四国版
■九州・沖縄版

専門学校 進路のてびき

■北海道版　■東北版
■東日本版　■東海・北陸版
■近畿版　■中国・四国版
■九州・沖縄版

職業実践専門課程ガイドブック

大学入試合格応援シリーズ

志望校合格を目指す高校生のための進学情報誌紙です。『大学受験合格 GUIDE BOOK』の『春版』では、年頭に実施されたばかりの「大学入学共通テスト」の結果について、イチ早く誌上分析・解説を行い、『秋版』では、〝憧れの大学〟に進学を果たした現役大学生から寄せられた「進路サクセスストーリー」を紹介。各誌紙とも、個別大学・短期大学・専門学校等の最新情報と共に入試日程等もお届けします。

大学受験 合格 GUIDE BOOK（春版）

大学受験 合格 GUIDE BOOK（秋版）

総合型選抜＆AO入試受験ガイド

■東日本版
■中部・西日本版

地方入試告知リーフレット

■北海道版　■東北版
■関東・首都圏版　■甲信越版
■東海4県版　■北陸版
■近畿版　■中国・四国版
■九州版　■沖縄版

『系統・分野別情報誌』シリーズ（7分冊）

高校卒業後の進学先を選ぶ上で重要な基準となる「好き」「興味」「してみたい」に焦点を当て、これに関連する多様なデータと共にニュース&トピックスおよびアウトラインを提示し、系統・分野、領域・ジャンル別の全７分冊に、分かりやすくかつ体系的に編集しています。

- No.1 食物、栄養、調理、製菓、生活、服飾、健康、スポーツ分野
- No.2 理容、美容、メイク、エステ、ネイル分野
- No.3 国際、経済、経営、法、公務員、ビジネス、語学、文学、教育、留学、ホテル、トラベル、エアライン分野
- No.4 芸術、音楽、造形、美術、デザイン、まんが、イラスト、アニメ分野
- No.5 理・工学、環境、情報、通信、機械、自動車、建築、農学、バイオテクノロジー（生命工学関連）分野
- No.6 看護、医療、福祉、保育、幼児教育分野
- No.7 動物、植物、バイオテクノロジー（農学関連）分野

大学・短期大学研究シリーズ

『大学・短大 進路のてびき』は、大学と短期大学の学びや入試・入学者選抜情報、学費の実際など、〝受験生なら知っておくべき〟基本情報やアウトラインを詳述。『大学探しBOOK』は、「学びたいこと」から進学先が絞り込めるように３分冊構成になっています。

大学・短大 進路のてびき

■東日本版
■中部・西日本版

学べることから見つける大学探しBOOK

❶人文科学、社会科学、教養・総合科学
❷理学、工学、農学、医療・保健　❸教育、芸術、家政・生活科学

保護者&教員、自力進学シリーズ

保護者世代に現代の高校生との対比を示す『保護者のみなさまへ』、進学資金に関する多様なヒントを伝える『自力進学 進学支援・学費サポートガイド』、また進路指導資料としての評価も高い『高校担任教諭必携進路指導ハンドブック』など、多様な視点から高校生の進路選択を考えていきます。

保護者のみなさまへ

■東日本版　■中部・西日本版

自力進学 進学支援・学費サポートガイド

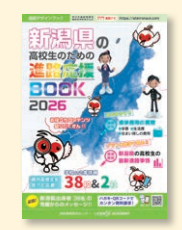
高校担任教諭必携 進路指導ハンドブック

高校生のための進路応援シリーズ［地域特集ガイド］等

各地域の地場産業や地域特性などから考える進路＆進学情報誌です。地元の大学・短期大学・専門学校、また企業等の最新情報はもちろん、当該エリア・路線の交通機関＆主要通学ルートなどをはじめ、進学事情や通学環境、労働市場や産業構造等も解説しています。

がんばれ！青森県の高校生

長野県の高校生のための進路応援BOOK


新潟県の高校生のための進路応援BOOK

福井・石川・富山の高校生のための進路応援BOOK

愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための進路応援BOOK

中国・四国地方の高校生のための進路応援BOOK

沖縄県の高校生のための進路応援BOOK

New

がんばれ！山梨県の高校生

イベントガイドシリーズ

『進路相談会徹底活用ガイドブック』では、会場形式相談会の概要を示しています。また、『見学会のてびき』は、企業または大学・短期大学・専門学校など、各種見学会参加時に活用効果が高いハンドブックです。『オープンキャンパスBOOK』は、各校のオープンイベントを特集した進学情報誌です。

進路相談会徹底活用ガイドブック

■東日本版
■中部・西日本版

見学会のてびき

■北海道版　■東日本版
■近畿・中国・四国版
■九州・沖縄版

オープンキャンパスBOOK

■北海道・東北版　■東日本版
■中部版　■北陸版
■近畿・中国・四国版　■九州・沖縄版

その他多彩なラインナップ

令和４年度からの新しい教育課程に盛り込まれた「総合的な探究の時間」を念頭に置いた『探究への導き』をはじめ、看護・医療系学校や外国人留学生等、ある特定のテーマやトピックスに絞ったガイドブックなど、非常に多彩な視点とユニークな切り口が好評です。

■東日本版
■中部・西日本版

「探究」への導き

医療系学校入試データ

日本留学データ

Global Education

フューチャーライブガイド

＊上記のほかにも豊富に取り揃えています。また、新年度版の発行や、統合・合本化等に当たり、名称や編集内容が変更となる場合などがあるほか、年度によって発行されない場合があります。詳しくは、大学新聞社（☎03-5925-1668）またはライセンスアカデミー（☎03-5925-1656）までお問い合わせください。

News & Topics

漁業フェア 漁師が集結! 国内最大規模の就職イベント
―― 全国漁業就業者確保育成センター

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター（東京都品川区）はこのほど、大田区産業プラザ pio（東京都大田区）において「漁業就業支援フェア 2025」を開催した。

漁業は、新鮮な魚介を食卓に届ける存在として〝なくてはならない職業〟である一方、近年は漁業者の高齢化や漁港・漁村の過疎化、後継者・担い手不足が深刻な問題となっている。

そうした背景を受け、同センターでは水産庁や全国の都道府県・地域の漁協等と連携を取り、新たな漁業の担い手の確保・育成を目的に漁業の魅力や情報を伝えるウェブサイト「漁師.jp」の運営や漁業ガイダンスなどを開催している。

「漁業就業支援フェア」は東京・大阪・福岡の3会場で毎年開催されており、過去20年間で100回以上の開催を数え、累計来場者数は1万5,000人を超える。漁師を育てたい漁業会社、漁師になりたいと考えている人を対象とする全国的に最大規模のマッチングイベントだ。マッチングの流れは、興味・関心のある出展団体ブースを訪問して、雇用条件や待遇などを確認したり、漁業関係者のナマの声を聞いたりする。応募者には、出展団体からフェア終了後10日以内に直接連絡が入り、現地訪問や体験乗船などで職場・生活環境を確認後、就業を決定するという流れだ。

入退場自由。歩き回って情報を収集できる

フェアの当日は、北海道から沖縄まで全国各地の漁業団体が総勢50のブースを出展したほか、172人の来場者が参加。単身や家族連れが多く、その年齢層も10代から50代までと幅広かった。会場は、漁協や漁業会社、現役漁師から直接話が聞ける「出展団体ブース」、漁業全般に関する話や出展団体情報が聞ける「ガイダンスコーナー」、悩みなどを個別に相談できる「まるごと相談ブース」、「資料コーナー」で構成されていた。

出展団体ブースでは、漁業の仕事内容や魅力を伝えるだけではなく、就業後の働き方をイメージしやすくするために職場・生活環境などもていねいな説明がなされた。「漁師」と聞くと、いわゆる「3K＝きつい、汚い、危険」というネガティブなイメージを抱かれたり、男性社会と考えたりする人は少なくないだろう。しかし、現状は、女性の活躍に期待が大きく高まっているのだという。

職業診断を受けた結果、〝漁師〟の単語を見つけてSNSをきっかけに会場に足を運んだという短期大学1年次の女子学生は「ウェブサイト上では知ることのできないリアルな話を聞くことができました。就職活動の選択肢に入れるためにも、漁業体験を受けてみようと考えています」と、前向きな様子だった。

また、同フェアへの参加が4回目だという高校2年次の女子生徒は「フェアや漁業体験に参加するたびに漁師になりたいという想いがますます強くなります」と、その眼差しは真剣だ。同行していた母親も、女性漁師の受け入れを積極的に行っている出展団体の話を一緒に聞き、理解を深めながら愛娘の夢の実現を応援しているという。

ある出展団体の人事・採用担当者は「このフェアは全国の漁業関係者にとって、新しい仲間に出合える貴重な場所です。土・日曜日、一泊二日で行われる短期研修制度を整えているところもあります。漁師の仕事に興味がある方はぜひご参加いただければ」と、期待をあらわにする。

漁業就業支援フェアの今後は、7月5日に福岡ファッションビル（福岡市）、7月21日に東京都立産業貿易センター浜松町館（東京都港区）、7月26日にOMMビル（大阪市）での開催を控えている。入場料は無料で、来場・参加予約は不要だ。漁業に興味がある人は、ぜひ参加を検討してみて欲しい。

労働力調査 15～24歳の就業率が大幅に増加
―― 総務省統計局

総務省統計局はこのほど、「労働力調査（基本集計）」の令和6年平均結果を公表した。

就業者数は令和6年平均で6,781万人と、前年に比べて34万人の増加となり、4年連続で増加していた。年齢階級別の就業者数を見ると、15～24歳は572万人で前年平均に比べて10万人増加した。

全体の就業率（15歳以上人口に占める就業者の割合）は、令和6年平均で61.7%と、前年に比べて0.5㌽の上昇かつ4年連続の上昇となった。

そのうち、15～24歳の就業率は48.8%で前年比1.0㌽の上昇が見られた。全体の就業率の上昇0.2㌽よりも、15～24歳の就業率上昇のほうが高い結果となった。正規の職員・従業員は3万人減少していたが、非正規の職員・従業員が13万人と大きく増加していることが上昇につながった一つの要因として考えられそうだ。この点には留意が必要だろう。

主な産業別就業者数を見ると、令和6年平均で増加したのは、「情報通信業」14万人増、「医療、福祉」12万人増、「宿泊業、飲食サービス業」9万人増だった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって抑制されていた宿泊・訪日需要、いわゆる「インバウンド」による急激な需要増大が影響しているのだろう。

一方、減少したのは、「製造業」9万人減、「農業、林業」7万人減、「建設業」6万人減だった。慢性的な人手不足や若者離れ、高齢化などの問題を抱えている業界が人材確保の苦戦を強いられている印象だ。

人口推計 想定超えの人口「自然減」最大89万人
―― 総務省

日本の人口が大きく減少し始めている。総務省は4月14日、令和6年10月1日現在の日本の総人口推計（含外国人）を発表した。前年比55万人（0.44%）減の1億2,380万2,000人で、14年連続で減少した。出生児数が死亡者数を下回る「自然減」は18年連続となるなど、今回の減少幅は過去最大の89万人にもおよんだ。この数字は、秋田県の人口（89万7,000人）に相当するもので、その大きさが容易に分かるだろう。日本人に限ってみれば、人口は1億2,029万6,000人で、前年同月比89万8,000人減となっている。令和6年の出生児数は71万7,000人（前年比4万1,000人減）、死亡者数は160万7,000人（同1万2,000人増）で自然減となった。

「年齢3区分別人口」で見ると、社会を動かす働き手である15～64歳の「生産年齢人口」は7,372万8,000人（同22万4,000人減）で、総人口に占める割合は59.6%にとどまった。将来を担うであろう15歳未満の「年少人口」は1,383万人（同34万3,000人減）で、全体に占める割合は11.2%と、過去最低を更新した。65歳以上の「老年人口」は3,624万3,000人で29.3%を占めていた。うち、75歳以上は70万人増の2,077万7,000人だった。昭和22～24年生まれの、いわゆる「団塊の世代」とされる世代が加わってきたことが大きな要因だ。

国立社会保障・人口問題研究所が令和5年に公表した「将来推計（中位推計）」では、令和6年の自然減は72万8,000人を見込んでいたが、これを大きく上回ることとなった。なお、自然減が89万人に上るのは令和17年と試算しており、10年ほど早く進む状況が大きな衝撃となっている。

18歳選挙権 選挙権年齢引き下げから10年が経過
―― 総務省

令和7年は、4年に一度の統一地方選挙と、3年に一度の「参議院議員通常選挙」が予定されており、これらが同じ年に行われる12年に一度の〝選挙イヤー〟と言われている。

ここで総務省が公表している「国政選挙の年代別投票率」を見てみよう。令和6年10月に投開票された「第50回衆議院議員総選挙」では、10代が39.43%、同様に、令和4年7月に行われた前回の「第26回参議院議員通常選挙」では35.42%だった。

いずれの選挙でも、若年層の投票率は低い水準にとどまっていた。

平成27年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられて10年が経過したいま、改めて「18歳選挙権」について整理したい。

選挙権年齢が引き下げられた理由の一つには、少子高齢化によって高齢者の人口が増える一方、若年者の人口は減りつつあることから、若年者の有権者数が少ないことになり、若い世代の意見が国や地方の政治に反映されにくくなるとの説明がなされることが多かった印象がある。若い世代の声をすくい上げることによって、社会や政治に反映させたいとの狙いがその背景にある。

選挙権の拡大は、昭和20（1945）年に女性の参政権が実現して以来、70年ぶりとされる。若者の声が反映されることで、政治に新たな流れが生まれる可能性に期待されている。

これから本格的な選挙シーズンに突入するにあたり、立候補者の考えや公約などをまとめた「選挙公報」が選挙ごとに発行される。主権者の自覚と関心を持ち、積極的な政治参加を目指したい。

ミャンマーの教育トピックス vol.1

対面式「日本留学フェア」が現地で好評

難しい社会的な状況下で日本留学希望者が多数来場

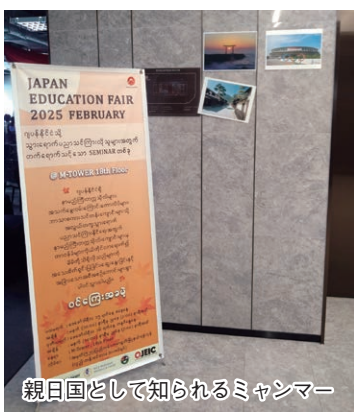
紀元前200年頃から後9世紀にかけて栄えたピュー王国の遺跡である「ピュー古代都市群」や、数千ものパゴダ（仏塔）・寺院が林立する「バガン遺跡」などの世界遺産をはじめ、高品質なルビーの産地として知られるミャンマー連邦共和国。評論家・竹山道雄が著した児童向け小説『ビルマの竪琴』が示すように、日本とは歴史的に深い関わりがある。本稿では、ミャンマーの教育制度や日本語教育事情などをお伝えすると共に、本年2月15・16日に実施された「日本留学フェア in ミャンマー」の様子を報告する。

ミャンマーの教育制度に注目 公用語はビルマ語（ミャンマー語）

国際交流基金（本部東京・新宿区）の最新資料である「日本語教育 国・地域別情報2023年度」によると、ミャンマーでは2016年から新しい教育制度が段階的に導入され、23年には基礎教育課程の移行が完了したのだという。

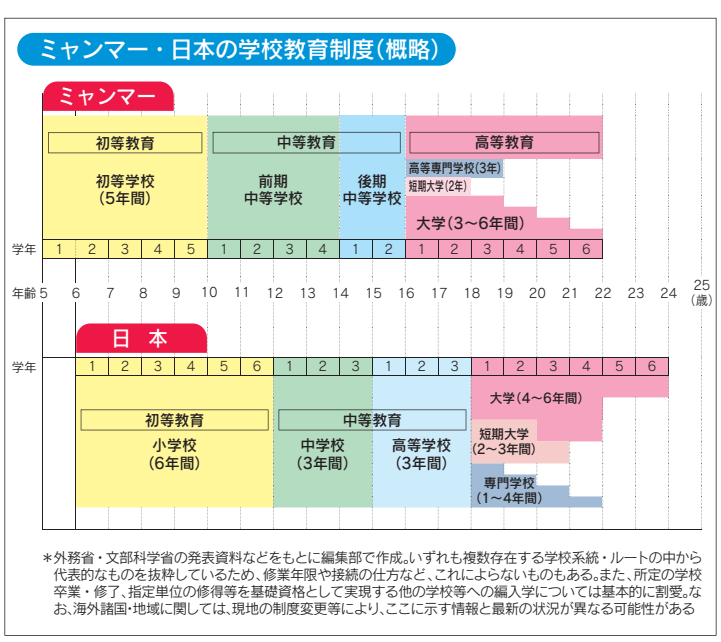
同資料は、ミャンマーは135もの民族が暮らすと言われる多民族国家であり、公用語はビルマ語（ミャンマー語）だと示す一方、ビルマ語は、ミャンマーの全人口の約7割を占めるビルマ族の言語であり、その他の少数民族の間では各民族固有の言語が使用されているとも。ビルマ語の表記には南インド由来のビルマ文字（ミャンマー文字）が用いられ、言語構造や文法的特徴に関して日本語と類似した点（語順が主語＋目的語＋動詞など）も複数見受けられるとしている。そうした背景のもと、学校教育や新聞・テレビ・ラジオ等の国内メディアや異なる民族間の会話では、基本的にはビルマ語が使用されているのだと明かす。なお、日本の外務省によると、仏教徒が全体の90％を占めているという。

日本の文部科学省のウェブサイト「世界の学校体系（アジア）」によれば、ミャンマーは、初等教育5年、前期中等教育4年、後期中等教育は2年。義務教育は制度として導入されていないものの、5歳に達したすべての子どもは小学校に入学できる権利を与えられており、原則として初等教育の5～10歳児を義務教育と見なしているのは理解しておきたい。



親日国として知られるミャンマー

来場者の真剣な面持ちが印象的



軍事政権下で不透明な先行き 海外留学・就職のニーズ高まる

国際交流基金が23年3月31日に公表した『2021年度「海外日本語教育機関調査」報告書』によると、21年度時点のミャンマーの日本語学習者数は1万9,124人だった。18年度に実施した前回調査と比べて1万6,476人（46.3%）減と半減、世界の国・地域別では前回調査時の第12位から順位を四つ下げて第16位と、大きく後退した。

これには、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響と、21年2月1日の国軍によるクーデター以降、実権を握る軍事政権下で社会が不安定化したこと等が要因として考えられるという。22年に入り、現地の民間日本語学校による授業が再開した一方、社会的混乱とそれに起因する経済低迷のために日本での留学や就労を目指す日本語学習者が激増したとしている。生活の安定を求めて、海外への留学・就職を希望する者が数多く存在する実態があるようだ。

ミャンマーは、第二次世界大戦前からの日本との長い関わりから、日本文化に高い関心を持つ親日国だとされる。現地の高齢者の中には日本語を理解する者もあり、若年層でも日本に憧れを抱く者が少なくないと言及。ただし、初等・中等教育機関には英語以外の第二外国語の授業がないため、日本語教育も実施されておらず、高等教育機関の入学後あるいは学校教育終了後に日本語学習を始める者が多いと結ばれている。

クラウドファンディング！「Yangonかるた」制作が実現

ミャンマーと日本の中学・高校生との交流に関する直近のトピックスとして紹介したいのが、21年3月に立ち上げられた「Yangonかるたプロジェクト」の活動だ。同プロジェクトは、ミャンマーで当時中学3年次に実際にクーデターを経験した生徒が、日本に帰国してからヤンゴン市内滞在中に撮影した写真を使用した「Yangonかるた」の制作を構想したことから、21年3月に立ち上げられた。「Yangonかるた」の制作に当たっては、有識者と校正を重ねた上で、クラウドファンディングを通して資金調達に挑戦。高校1年次に進級後の22年2月には、300万円以上の支援資金を集めた。同プロジェクトは、本年1月13日には千葉県浦安市内の飲食店で「ミャンマーチャリティフェス」を主催するなど、現在も精力的な活動を続けている。

初日の2月15日には約600人にも上る来場者が会場に足を運んだ

参加者からは学費や生活費など費用に関する質問が多く寄せられた

▲ミャンマーへの想いが込められた「Yangonかるた」

対面式日本留学フェア初開催 初日は約600人の来場者迎える

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー（本社東京・新宿区）は、2月15・16日の両日にわたってM Tower（ミャンマー・ヤンゴン市）の18階で「日本留学フェア in ミャンマー」を開催した。

両日程とも、参加校ごとにブースを設置し、時間内に自由に移動できる個別面談形式で進行。日本の大学や日本語学校に加え、いずれもヤンゴン市に門を構えるミャンマー元日本留学生協会（MAJA）やミャンマー日本人材開発センター、在ミャンマー日本国大使館、国際交流基金が参加し、初日は592人、二日目には392人もの来場者が詰めかけた。

ミャンマー現地の日本語教育機関から大人数での来場があったほか、個人で訪れる学生の姿も多く見受けられた。来場者からは学費や生活費などの費用面での質問が多く寄せられ、MAJAや在ミャンマー日本国大使館の担当者による奨学金制度の説明に熱心に耳を傾ける者が多かった。希望する留学先としては日本語学校が人気を集めていたが、国際交流基金と日本国際教育支援協会（本部東京・目黒区）が運営する日本語能力試験（JLPT）のN1・N2取得者の多くは、日本の大学進学に関する情報を求めていた。

ミャンマー現地では最新の日本留学に関する情報にアクセスする機会が限られており、今後の継続的な活動が望まれている。ラ社は8月2・3日にも、ヤンゴン市内で「日本留学フェア in ミャンマー」を開催予定だ。